

2020

日立の教育



日立市教育委員会

教育の基本理念

未来を拓く人づくり

基本理念を実現するための推進テーマ

- いいとこ発見 夢づくり【学校教育】
- ゆたかな学び 未来につなぐ 人づくり【生涯学習】
- 楽しくスポーツ 活力づくり【スポーツ】

目 標

学ぶ 夢みる そして輝く

～ ひたちらしさを活かした教育で、未来を拓く ～

<社会状況の変化>

- ・人口減少・少子高齢化の加速化
- ・急激な技術革新（Society5.0）
- ・人生100年時代の到来

<教育環境の変化>

- ・新学習指導要領の全面实施
- ・配慮が必要な児童生徒の増加
- ・教職員の働き方改革



【目指す姿】

- 主体的に判断し、多様な人々と協働しながら、未来を拓く人材の育成（学校教育）
- 一人一人が活躍し、健康で豊かに暮らすことのできる生活の実現（生涯学習・スポーツ）

※「ひたちらしさ」を活かした取組による教育の振興 ⇒ 未来を拓く人づくり

《表紙写真》

- ・上段
スクールカバンを背負って登校する新中学1年生（スクールカバンの贈呈）
（助川中学校）
- ・中段
タブレットを活用したプログラミングの授業（ICT教育）
（埴山小学校）
- ・下段
新しい移動図書館車による本の貸出（読書活動の推進）
（中里小学校）

2020 日立の教育

(総目次)

I 日立市の概況

II 教育委員会

III 学校教育

IV 生涯学習

V 生涯学習関係施設

VI 資料編

目 次

I	日立市の概況		5	特別支援教育	
1	概況	1	(1)	特別支援学級設置状況及び児童生徒数 (種別、学校別、学年別)	25
2	面積、人口及び世帯	1	(2)	日立特別支援学校児童生徒数 (学年別、症状別)	26
3	日立市の財政	3	(3)	日立市教育支援委員会	26
II	教育委員会		6	幼稚園	
1	教育委員会	4	(1)	園児数及び就園率	28
2	教育委員会の機構	5	(2)	預かり保育	28
3	事務局分掌事務	6	(3)	私立幼稚園就園奨励費補助金	28
4	教育委員会職員数	8	7	保護者負担軽減対策	
5	令和2年度教育予算(歳出)	9	(1)	ランドセル・スクールカバン 予算措置	29
III	学校教育		(2)	氏名ゴム印予算措置	29
1	児童生徒数の推移		(3)	部活動関係予算措置	29
(1)	人口の推移	10	(4)	自転車通学生徒用ヘルメット購入費 補助	29
(2)	児童生徒数の推移と推計	10	8	学校施設整備状況	30
(3)	今後4か年就学児推計	10	9	教材教具整備状況	
2	学校等設置状況		(1)	教材整備及び図書整備	31
(1)	幼稚園、認定こども園、小・中学校 及び特別支援学校	11	(2)	教育用コンピュータ等の整備	31
(2)	私立幼稚園及び認定こども園	13	10	保健と安全	
(3)	私立小学校、中学校、高等学校 及び大学	14	(1)	学校保健	32
3	教育指導		(2)	学校安全	33
(1)	日立市の学校教育目標	15	11	学校給食	
(2)	目指す子どもの姿「ひたちっ子」	15	(1)	学校給食共同調理場の概要	35
(3)	学校教育施策の柱及び方向性	16	(2)	運営管理	36
(4)	令和2年度研究指定園・校	17	12	通学用スクールバス	
(5)	中卒者の進路状況	17	(1)	中里小・中学校スクールバス	37
(6)	長欠児童生徒の推移(30日以上)	18	(2)	日立特別支援学校スクールバス	37
(7)	令和元年度体力・運動能力調査平均値 の比較	19	13	奨学金制度	
4	教育研究所事業		(1)	貸付人員	38
(1)	基本方針	20	(2)	貸付額	38
(2)	重点事項	20	(3)	年度別貸付状況	38
(3)	事業内容	20	(4)	奨学金貸付基金運用状況	38
(4)	令和元年度各種事業の実施状況	21			

IV	生涯学習	(8) 資料貸出し等状況	54
1	生涯学習の推進	3 視聴覚センター	
(1)	基本方針	(1) 施設概要	55
(2)	生涯学習の重点施策	(2) 基本方針	55
2	学校施設開放	(3) 主な事業	55
(1)	開放施設一覧	(4) 利用状況	55
(2)	令和元年度学校体育施設開放利用 状況	(5) 各種事業の実施状況	56
3	日立の文化財一覧	4 スポーツ施設	
		(1) 市民運動公園	58
		(2) スポーツ広場	58
		(3) 武道館	58
		(4) 市民プール	58
		(5) 市民広場等	58
		(6) 利用状況	59
		5 その他の施設	59
V	生涯学習関係施設	VI 資料編	
1	図書館	1 日立市教育委員会及び日立市の沿革	60
(1)	施設概要	2 協議会・審議会・委員会委員名簿	68
(2)	基本方針	3 令和2年度（公財）日立市体育協会の 組織図	73
(3)	令和2年度図書購入計画	4 市立幼稚園、認定こども園、小・中学校 及び特別支援学校配置図	74
(4)	蔵書冊数	5 幼稚園、認定こども園、小・中学校、 高等学校及び大学配置図（市立を除く）	75
(5)	利用状況	6 生涯学習関係施設配置図	76
(6)	活動のあらまし		
2	郷土博物館		
(1)	施設概要		
(2)	基本方針		
(3)	運営目標		
(4)	利用状況		
(5)	特別展示等開催状況		
(6)	ギャラリー展		
(7)	各種行事開催状況		

I 日立市の概況

1 概況

日立市は、関東平野の北端、茨城県の北東部に位置しており、東京から約150kmの距離にある。JR常磐線や国道6号が市内を縦断しており、常磐線特急電車で約100分、常磐自動車道では約1時間強で首都東京まで移動できるなど、交通条件に恵まれている。東は太平洋に面し、西は阿武隈山地の支脈である多賀山地が連なっており、海と山の豊かな自然環境に恵まれるとともに、年間を通して比較的温暖な気候にある。

本市は、明治以来日立鉱山及び日立製作所の飛躍とともに発展し、現在においても日立製作所をはじめとする多くの工場があり、重要港湾である茨城港日立港区とあいまって、県内有数の工業拠点を形成している。

また、市内には、吉田正音楽記念館、かみね公園・動物園、鶴来湯十王、奥日立きららの里、道の駅日立おさかなセンターなどの豊富な観光資源や、日立風流物やいぶき山イブキ樹叢といった貴重な文化財も多い。さらにコミュニティ活動、生涯学習活動の推進においては独自の施策を展開しており、「生活未来都市・ひたち～知恵と自然が響き合い、暮らしを明日につなぐまち～」を掲げ、産業と市民生活との調和のとれたまちづくりを進めている。

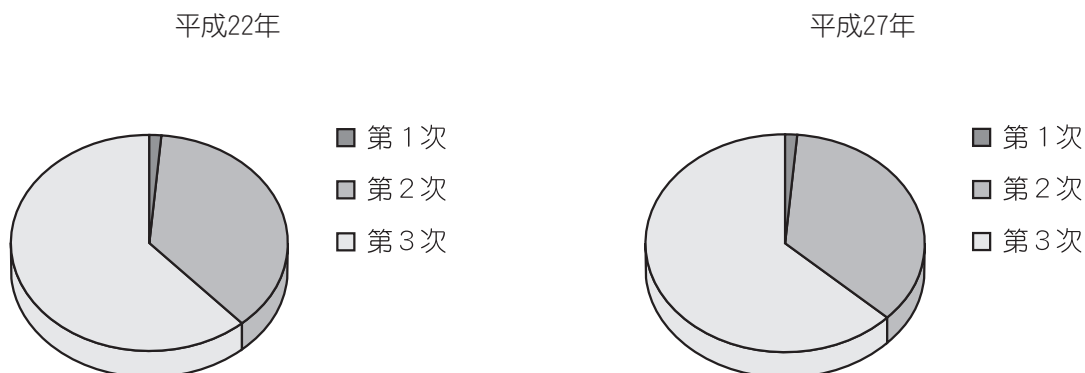
2 面積、人口及び世帯

世帯数 (戸)	人口(人)		一世帯平均 人口(人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
	男	女			
78,190	174,503	86,932	2.2	225.86	772.6

令和2年5月1日現在

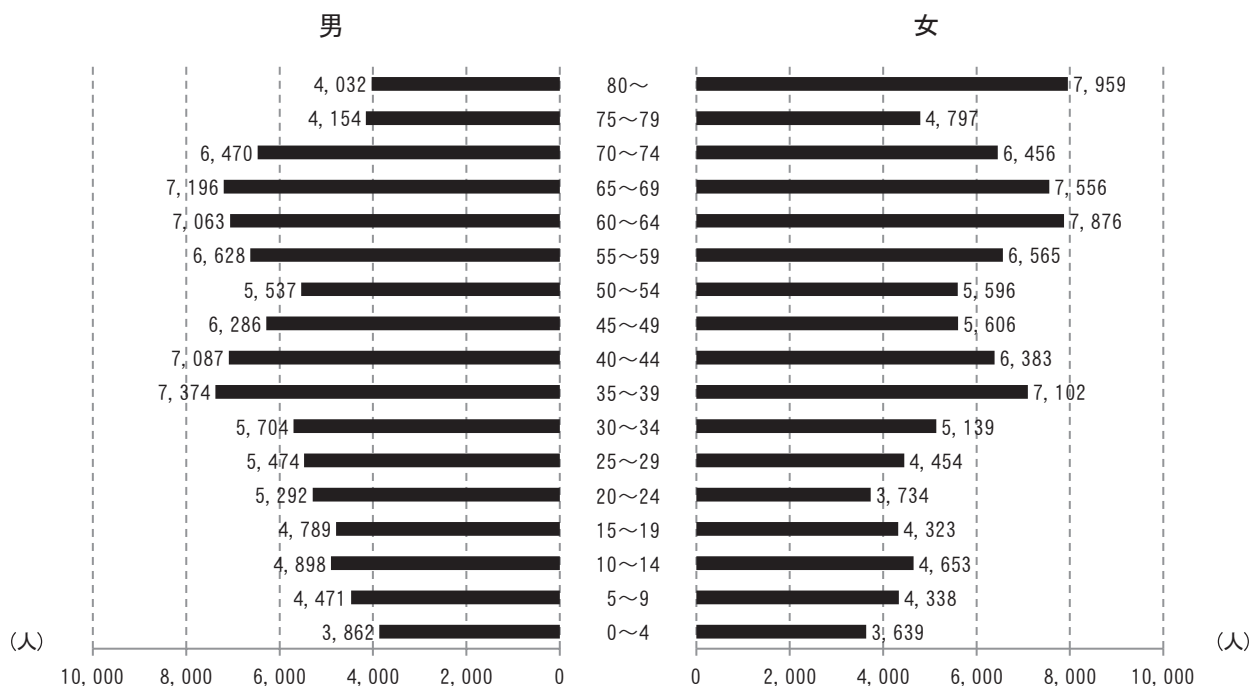
産業別人口構成（国勢調査による）

	平成22年		平成27年	
第1次産業	1,262人	1.5%	1,099人	1.3%
第2次産業	30,882人	37.9%	34,276人	40.1%
第3次産業	49,439人	60.6%	50,155人	58.6%
合計	81,583人		85,530人	

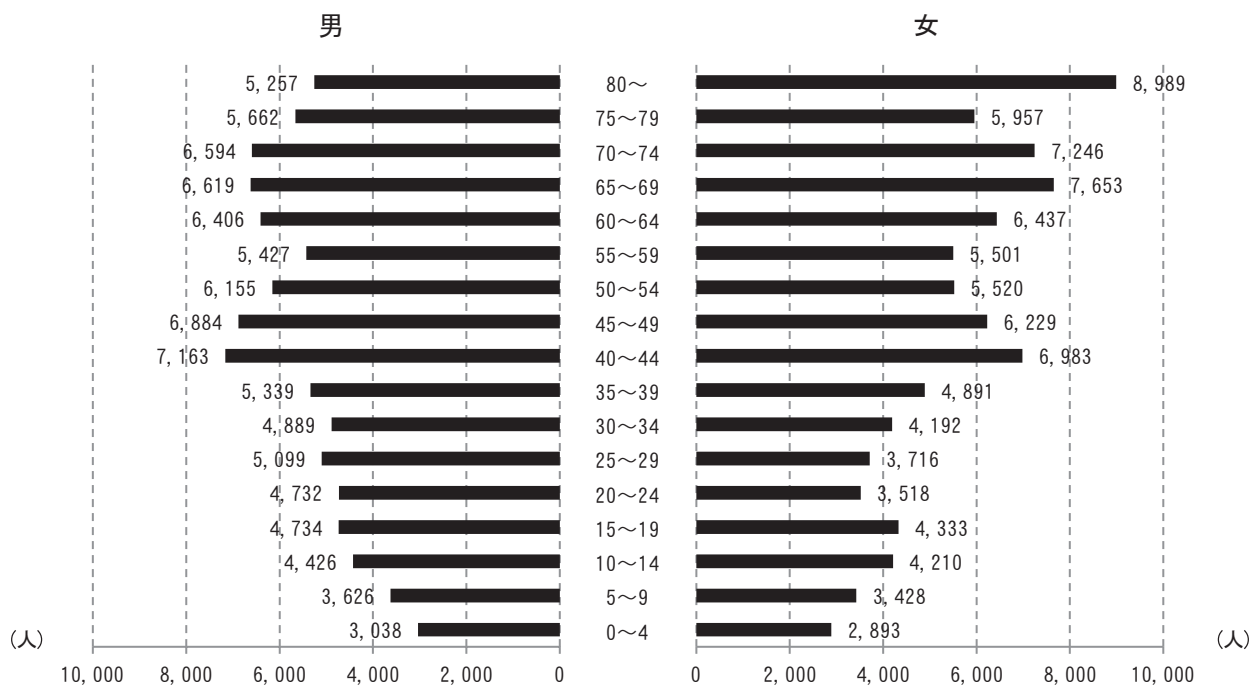


年齢別人口構成（国勢調査による）

平成22年
年齢



平成27年
年齢



3 日立市の財政

令和2年度日立市一般会計歳出予算科目別構成比

（単位：千円）

科 目	予 算 額	人 件 費		そ の 他	構 成 比（％）
		人 件 費	そ の 他		
議 会 費	458,307	409,786	48,521		0.6
総 務 費	9,216,930	3,625,006	5,591,924		12.6
民 生 費	26,444,740	2,215,760	24,228,980		36.2
衛 生 費	4,767,927	694,409	4,073,518		6.5
労 働 費	32,808	23,238	9,570		0.1
農林水産業費	323,795	140,344	183,451		0.5
商 工 費	4,267,987	646,054	3,621,933		5.8
土 木 費	9,072,992	1,392,963	7,680,029		12.4
消 防 費	3,391,414	2,826,723	564,691		4.6
教 育 費	8,576,218	2,079,020	6,497,198		11.7
災 害 復 旧 費	45,326	288	45,038		0.1
公 債 費	6,298,556	0	6,298,556		8.6
予 備 費	250,000	0	250,000		0.3
合 計	73,147,000	14,053,591	59,093,409		100.0
構 成 比（％）	100.0	19.2	80.8		—

教育費予算額過去10年間の推移（平成23年度～令和2年度）

（単位：千円）

年 度	教育費予算（A）	一般会計予算（B）	A／B×100（％）
平 成 23	6,515,089	61,840,000	10.5
24	7,347,529	63,043,000	11.7
25	7,973,518	62,574,000	12.7
26	7,550,440	65,585,000	11.5
27	9,267,338	69,760,000	13.3
28	8,527,358	76,884,000	11.1
29	6,840,301	70,819,000	9.7
30	10,171,691	75,670,000	13.4
令 和 1	9,262,946	71,738,000	12.9
2	8,576,218	73,147,000	11.7

II 教育委員会

1 教育委員会

職 名	氏 名	現 任 期
教 育 長	おり かし しょう へい 折 笠 修 平	令元. 12. 25～令4. 12. 24
教育長職務代理者	なか むら まさ とし 中 村 雅 利	平28. 12. 25～令2. 12. 24
委 員	かみ むら ゆ み 上 村 由 美	令元. 10. 1～令5. 9. 30
委 員	あさ ひ はな こ 朝 日 華 子	令元. 7. 1～令5. 6. 30
委 員	つち や しず はる 土 屋 静 治	平29. 10. 2～令3. 10. 1

令和2年5月1日現在

折笠教育長



中村教育長職務代理者



上村委員



朝日委員



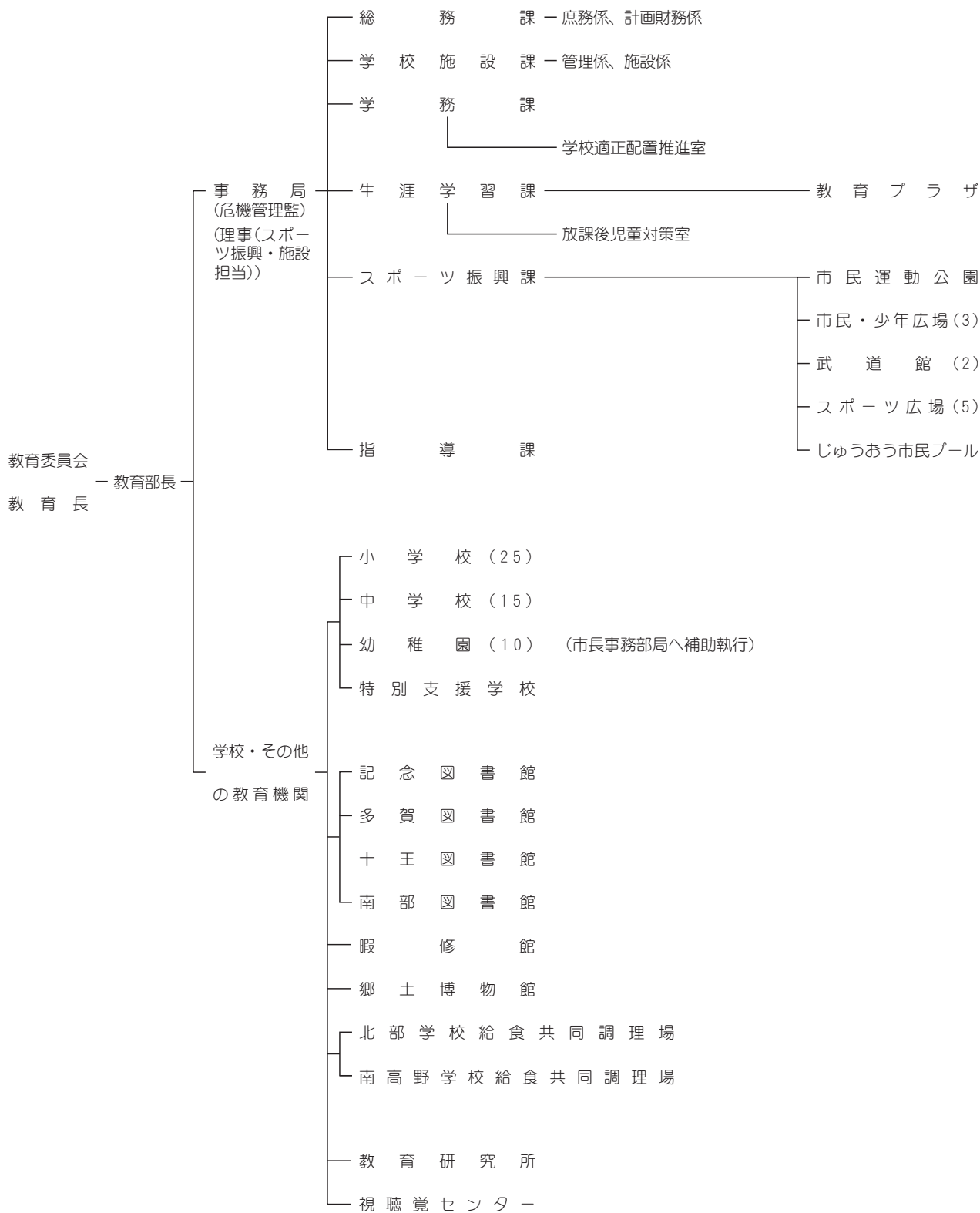
土屋委員



会議の開催状況（令和元年度）

種別	月													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	6	
協議会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	

2 教育委員会の機構



3 事務局分掌事務

総務課

（庶務係）

教育委員／教育委員会会議／例規案の審査、制定改廃の手續／職員（県費教職員を除く。以下同じ。）の任命、配置、分限、懲戒／職員の服務、研修、福利厚生／職員の昇格、昇給、給与／組織、事務分掌／衛生委員会／公印管守／文書收受、発送／公文書公開／個人情報保護／公告式／渉外、秘書／各課との連絡調整／総合教育会議／その他各課に属さないこと

（計画財務係）

重要施策企画／事務事業進行管理／教育行政相談／要望、請願、陳情等の処理／教育長特命の重要事項調査研究、総合調整／教育委員会予算、決算の総括／私立学校／日立市奨学金／教育に関する施策の大綱

学校施設課

（管理係）

小・中・特別支援学校の予算経理／小・中・特別支援学校の教材、教具整備管理

（施設係）

学校施設の計画（土地を含む）、建設／学校施設の大規模改修／学校施設の維持管理、環境整備／学校施設に係る国庫補助申請等／学校施設台帳の整備、実態調査

学務課

県費教職員の任命、分限、懲戒内申／県費教職員の服務、免許、給与、福利厚生／学校の設置、廃止／通学区設定、改廃／学級編制、教職員定数／就学、入学、転学／教科書無償給与／児童生徒に係る諸補助／就学奨励費／学校に係る調査統計／就学相談／学校給食／学校医・学校歯科医・学校薬剤師の任免、服務、研修／児童生徒の保健、安全、福利厚生／新入学児童生徒のランドセル・スクールカバンの支給／スクールバス運行

生涯学習課

生涯学習推進の総合計画、連絡調整／ひたち生き生き百年塾推進本部／生涯学習情報の提供／社会教育委員会議／教育プラザ・暇修館の設置、運営／社会教育活動に対する指導助言／ラジオ体操の普及／子どもの体験活動支援／新成人記念事業／市が運営する放課後児童健全育成事業（障害児児童クラブを除く。）／市以外の者が行う放課後児童健全育成事業等の補助、届出、立入調査等／放課後子ども教室／その他生涯学習及び放課後児童対策に関すること

スポーツ振興課

体育（スポーツを含む）振興企画／レクリエーション活動／各種体育大会、競技会／体育関係諸団体／スポーツ推進委員／体育施設の設置、運営（じゅうおう市民プールの管理を含む）／対外競技、選手派遣／学校施設開放／市民運動公園、市民広場及び少年広場の管理

指導課

学校・幼稚園の教育の計画、経営／児童生徒の生活指導／学校教育内容の助言、指導／教育課程／教職員の研修／教職員の教育研究／教育に関する各種検査、調査、評価／教材等の届出、承認／教材、教育資料の収集、研究／教科用図書採択／視聴覚教育／その他学校教育に関する専門事項の指導に関すること

※ 次の事務については、保健福祉部子ども施設課が分掌する。

幼稚園施設の計画（土地を含む。）、建設／幼稚園施設の大規模改修／幼稚園施設の維持管理、環境整備／幼稚園施設に係る国庫補助申請等／幼稚園施設台帳の整備、実態調査／幼児教育振興／幼稚園に係る予算経理／幼稚園の教材教具整備管理／幼稚園の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の任免、服務、研修／幼児の保健、安全、福利厚生

4 教育委員会職員数

(単位：人)

所 属	職 種	一般 職員	教諭	用務員	指 導 主事等	再任用 職 員	臨時的 任 用 職 員	その他の職員 (会計年度任用職員)		
									計	
事 務 局	教育部長	1	0	0	0	0	0		0	1
	理 事	0	0	0	0	1	0		0	1
	総 務 課	8	0	0	0	0	0	事務	2	10
	学校施設課	11	0	0	0	0	0		0	11
	学 務 課	11	0	0	1	0	0		0	12
	生涯学習課	8	0	0	0	1	0	社会教育指導員	2	11
	スポーツ振興課	8	0	0	0	1	0	スポーツ施設維持管理員 スポーツ施設管理人	2 1	12
	指 導 課	6	0	0	6	0	0	生徒指導担当教育相談員 学力向上アドバイザー スクールソーシャルワーカー 外国語指導助手	1 1 1 2	17
小 計	53	0	0	7	3	0		12	75	
幼 稚 園 (※市長事務部局 へ補助執行)	0	26	0	0	0	1	2	幼稚園用務員 幼稚園講師(担任) 知的・情緒障害児学級担当講師 障害児介助員 預かり保育員	3 7 5 32 2	78
小 学 校	0	0	4	0	0	1	0	学校事務員 学校図書事務員 学校用務員 理科学習支援講師 少人数指導教員 生活指導員 学校給食配膳員	22 25 20 8 5 72 30	187
中 学 校	0	0	1	0	0	0	0	学校事務員 学校図書事務員 学校用務員 生活指導員 学校給食配膳員 部活動指導員	14 15 14 1 9 1	55
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	特別支援学校看護員 特別支援学校障害児介護員 特別支援教育補助員 学校用務員 学校給食配膳員	3 4 1 1 1	10
小 計	0	26	5	0	0	2	2		295	330
図 書 館	23	0	0	0	0	3	0	図書館員 図書搬送員 子ども読書活動推進アドバイザー 事務	39 1 1 25	92
暇 修 館	0	0	0	0	0	0	0	暇修館管理人	1	1
郷 土 博 物 館	5	0	0	0	0	0	0	郷土博物館研究員 郷土博物館特別専門員 郷土教育アドバイザー 事務	4 1 1 4	15
調 理 場	5	0	0	0	0	1	0	学校給食共同調理場栄養士	3	9
教 育 研 究 所	4	0	0	0	2	0	0	教育相談員(学校訪問担当相談員) 教育相談員(適応指導教室担当相談員) こども発達相談センター相談員 こども発達相談センター心理検査員	14 4 8 1	33
視聴覚センター	2	0	0	0	0	1	0	視聴覚センター勤務員 事務	4 2	9
小 計	39	0	0	2	5	0	0		113	159
合 計	92	26	5	9	10	2	2		420	564

(令和2年7月1日現在)

5 令和2年度教育予算(歳出)

(単位：千円)

項目	予算額	人件費		その他
		人件費	その他	
教育費 (教育委員会予算)	8,576,218 (7,474,091)	2,079,020 (1,652,056)		6,497,198 (5,822,035)
1 教育総務費	1,121,771	619,618		502,153
1 教育委員会費	20,472	19,611		861
2 事務局費	500,932	396,266		104,666
3 教育指導費	383,152	119,309		263,843
4 特別支援学校費	105,969	22,531		83,438
5 教育研究所費	100,479	61,859		38,620
6 高等教育振興費	10,767	42		10,725
2 小学校費	1,587,469	206,252		1,381,217
1 小学校管理費	1,072,003	184,320		887,683
2 小学校教育振興費	80,708	21,932		58,776
3 小学校建設費	434,758	0		434,758
3 中学校費	1,626,369	94,896		1,531,473
1 中学校管理費	604,313	94,896		509,417
2 中学校教育振興費	63,312	0		63,312
3 中学校建設費	958,744	0		958,744
4 幼稚園費 (教育委員会予算)	923,352 (0)	367,520 (0)		555,832 (0)
1 幼稚園費 (教育委員会予算)	438,592 (0)	367,520 (0)		71,072 (0)
2 私立幼稚園振興費 (教育委員会予算)	484,760 (0)	0 (0)		484,760 (0)
5 社会教育費 (教育委員会予算)	1,118,586 (939,811)	609,898 (550,455)		508,688 (389,356)
1 社会教育総務費 (教育委員会予算)	508,688 (477,086)	438,496 (383,831)		55,413 (93,255)
2 図書館費	370,886	(383,831)		239,276
3 博物館費	67,824	21,641		46,183
4 視聴覚センター費	24,015	13,372		10,643
5 青少年育成推進費 (教育委員会予算)	28,152 (0)	66 (0)		28,086 (0)
6 青少年施設管理費 (教育委員会予算)	95,958 (0)	4,713 (0)		91,245 (0)
6 保健体育費	2,198,671	180,836		2,017,835
1 保健体育総務費	302,131	171,069		131,062
2 学校給食共同調理場費	1,253,932	9,767		1,244,165
3 体育施設費	642,608	0		642,608

※幼稚園費には「保健福祉部 子ども施設課」の予算を、社会教育費には「生活環境部 女性若者支援課」の予算を含んでいる。

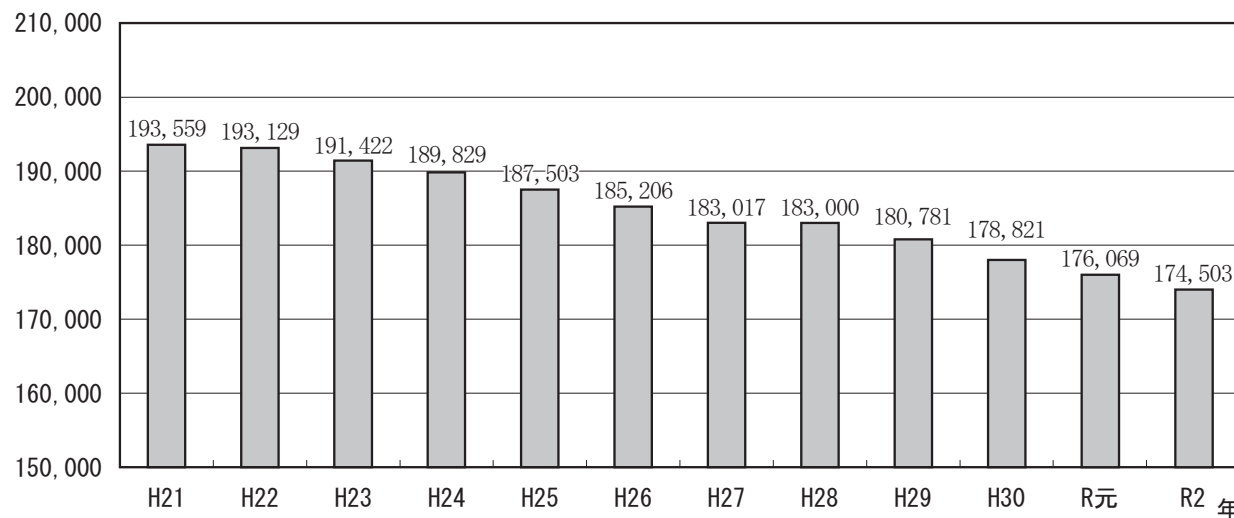
子ども施設課及び女性若者支援課の予算を除く教育委員会に関する予算は、()内に掲載している。

III 学校教育

1 児童生徒数の推移

(1) 人口の推移

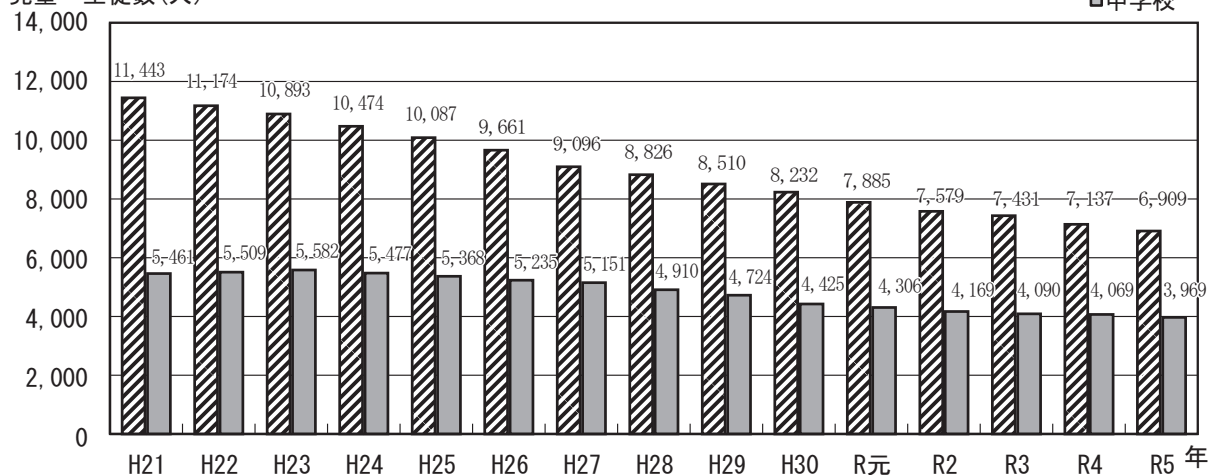
人口(人)



(各年10月1日現在の常住人口による〔令和2年のみ5月1日現在〕)

(2) 児童生徒数の推移と推計

児童・生徒数(人)



(各年5月1日現在)

(3) 今後4か年就学児推計

(単位：人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,171	1,091	1,037	959

(令和2年4月1日現在)

2 学校等設置状況

(1) 幼稚園、認定こども園、小・中学校及び特別支援学校

令和2年5月1日現在（単位：人・㎡）

種別	区分 校名	所在地	開設年月日	児童生徒数		学級数 普通	特別 支援	教職員数	校地面積(㎡)		建築物面積(㎡)				保有教室数					
				男	女				計	職	員	敷地 面積	左のうち 運動場 面積	鉄筋 鉄骨 木造	校舎 建設年月	屋内 運動場	普通 (保育室)	特別 (遊戯室)	プール	
幼稚園	中小路	平和町2-4-1	S28.4.1	9	2	11	2	7(3)	2,782	2,143	581	321	20	922	[S52.1][S53.8][H9.10]	—	2	1	無	
	会瀬	会瀬町2-17-10	S53.4.1	—	—	—	—	—	会瀬小学校敷地内	482	0	0	0	482	[H24.3]	—	1	1	〃	
	高鈴	高鈴町3-2-4	S48.4.1	—	—	—	—	—	2,784	1,363	0	479	20	499	[S48.3]	—	2	1	〃	
	滑川	滑川本町4-11-15	S44.4.1	2	9	11	2	3(1)	2,795	1,398	0	597	0	597	[S42.3][S44.1][S45.9][S48.3]	—	2	1	〃	
	金沢	金沢町5-12-1	S51.4.1	6	2	8	1	3(1)	2,657	1,327	0	482	10	492	[S51.2]	—	2	1	〃	
認定こども園	大沼	東金沢町5-6-6	S50.4.1	12	15	27	2	6(4)	3,583	2,420	755	0	10	765	[S50.1]	—	3	1	〃	
	水木	水木町2-43-31	S43.4.1	—	—	—	—	—	2,789	1,514	0	536	0	536	[S43.3]	—	1	1	〃	
	田尻	田尻町4-39-2	S51.5.6	11	11	22	2	3(1)	5,360	2,901	704	22	20	746	[S51.5][S54.3]	—	2	1	〃	
	豊浦	川尻町1-6-6	S49.4.1	5	2	7	1	2(1)	5,883	1,161	0	490	13	503	[S49.3][S63.3][H3.10]	—	2	1	有	
	柳形	十王町伊師本郷506	S49.4.1	13	13	26	2	5(1)	4,956	937	0	533	12	545	[S58.2][S61.11]	—	2	1	無	
小	計			58	54	112	12	29(12)	33,589	15,164	2,522	3,460	105	6,087		—	19	10	—	
	みやた	本宮町2-10-22	H26.4.1	10	16	26	2	5	2,395	950	584	193	0	777	[H1.3][H26.3]	—	2	1	無	
学	はなやま	金沢町2-10-23	R2.4.1	11	4	15	2	5	4,270	730	290	0	791	1,081	[R1.9]	—	2	1	有	
	計			21	20	41	4	10	6,665	1,680	874	193	791	1,858		—	4	2	—	
	助川	助川町2-15-1	M6.7.27	163	193	356	12	6	29	31,511	15,865	6,060	10	40	6,110	[S52.1][S53.8][S54.9]	921	18	16	有
	会瀬	会瀬町2-17-10	S14.4.3	132	151	283	10	4	19	20,910	9,480	4,640	0	40	4,680	[H24.3]	757	14	13	〃
	小宮田	本宮町2-9-1	M6.6.27	172	180	352	12	5	25	19,964	9,497	5,332	0	40	5,372	[S45.3][S52.10][S54.1]	848	17	15	〃
校	滑川	滑川本町1-20-7	S48.4.1	197	139	336	12	5	23	22,335	9,171	5,495	215	0	5,710	[S48.3][S50.2][H13.12]	780	17	16	〃
	仲町	宮田町5-5-1	T7.6.11	64	50	114	6	3	14	12,643	6,325	3,700	6	20	3,726	[S53.8][S55.8]	809	9	10	〃
	中小路	平和町2-4-1	S15.7.10	55	61	116	6	2	13	19,724	9,484	3,529	11	80	3,620	[S52.1][S53.8]	739	8	8	〃
	大久保	末広町1-1-1	M6.8.15	253	228	481	17	4	32	23,875	9,666	6,814	25	0	6,839	[S50.9][S51.9]	895	21	18	〃
	河原子	河原子町4-3-4	M22.7.8	101	96	197	7	3	17	15,470	8,372	4,384	8	40	4,432	[S44.3][S51.12][S56.3]	798	10	11	〃
校	成沢	中成沢町3-16-8	M6.7.1	108	122	230	7	3	18	17,090	8,964	5,968	0	39	6,007	[S46.3][S46.12]	760	10	18	〃
	諏訪	諏訪町3-10-1	S44.4.1	147	130	277	11	2	18	30,832	11,227	5,199	26	20	5,245	[S57.3][H28.11]	711	13	10	〃
	水木	水木町1-6-1	M22.6.28	193	183	376	13	6	28	17,872	6,996	5,681	0	20	5,701	[S49.3][S55.2][H26.3]	775	19	15	〃
	大みか	大みか町3-19-15	S49.4.1	120	111	231	9	4	19	16,850	9,219	4,192	0	60	4,252	[S49.3][S60.3]	789	13	7	〃

※ 幼稚園の教職員数には非常勤園長3名を含む。また、()内は非常勤講師数(外数)を表す。

※ 会瀬、高鈴、水木幼稚園は、令和2年4月1日から休園中。

※ 認定こども園の園児は、教育認定子どもの人数。

種別	区分 校名	所在地	開設年月日	児童生徒数		教職員数	市職員数	校地面積（㎡）		建築物面積（㎡）				保有教室数		アール			
				男	女			計	普通	特別支援	敷地面積	左のうち運動場面積	鉄筋	鉄骨	木造		校舎	建設年月	屋内運動場
小学校	大沼	東大沼町2-1-8	S24.4.6	261	254	515	32	1	36,396	21,418	7,236	11	40	7,287	[S49.3][S50.7][S54.3]	867	22	19	有
	金沢	金沢町5-2-1	S46.4.1	131	115	246	9	4	24,172	6,788	5,204	0	72	5,276	[S46.3][S48.11]	752	13	18	〃
	埴山	金沢町2-14-1	S54.4.1	149	131	280	11	5	20,379	10,368	5,288	0	80	5,368	[S53.12]	790	16	17	〃
	油繩子	鮎川町3-11-1	S30.4.1	98	94	192	7	4	24,110	11,390	4,568	36	40	4,644	[S55.10][H27.3]	751	11	10	〃
	田尻	田尻町4-39-1	S52.4.1	233	212	445	14	7	33,349	13,710	7,128	0	40	7,168	[S51.10][S51.11][S52.11][S59.2]	790	21	18	〃
	日高	日高町2-12-1	M6.8.2	247	236	483	15	5	19,570	8,046	5,667	317	20	6,004	[S45.3][S47.3]	791	20	12	〃
	豊浦	折笠町741	M6.8.1	246	242	488	16	3	40,542	12,619	6,924	0	20	6,944	[S56.3][R1.12]	754	19	9	〃
	久慈	久慈町1-23-1	M6.7.9	136	135	271	10	3	16,556	7,426	5,271	0	20	5,291	[S38.3][H31.2]	819	13	13	無
	坂本	南高野町3-21-1	M22.7.14	192	168	360	12	4	21,411	7,384	6,194	0	0	6,194	[S47.2][S49.5][H20.2]	757	16	17	有
	東小沢	下土木内町617	M7.7.15	9	12	21	3	0	13,464	8,027	0	1,934	40	1,974	[S50.6][S58.3]	748	3	10	〃
中学校	中里	東河内町1,909	M33.7.10	10	16	26	3	0	8,182	2,640	1,985	0	40	2,025	[S54.10]	718	3	10	〃
	柳形	十王町伊師本郷508	M6.6.29	442	380	822	26	5	21,042	9,675	5,803	36	0	5,839	[S50.3][S51.7][S56.3]	739	31	13	〃
	山部	十王町山部841	M7.3.31	13	14	27	3	2	9,017	4,850	923	78	405	1,406	[S32.1][S55.3]	590	5	5	無
	計			3,872	3,653	7,525	268	94	537,266	238,607	123,185	2,713	1,216	127,114		19,448	362	328	一
	助川	鹿島町3-5-1	S22.5.3	162	150	312	10	2	25,493	11,000	4,797	349	48	5,194	[S52.1][S53.8][H11.12][H25.7]	1,320	12	11	有
	平沢	高鈴町1-15-1	S23.9.10	39	36	75	4	1	26,191	11,815	2,406	230	15	2,651	[S47.7][S48.2][H1.5]	1,458	5	10	無
	駒王	神峰町3-2-32	S24.4.5	146	151	297	10	3	15,141	8,394	6,423	5	0	6,428	[H15.2]	1,246	13	24	有
	滑川	東滑川町3-17-1	S55.4.1	166	165	331	10	4	32,836	15,921	5,349	0	40	5,389	[S55.2]	1,176	14	18	〃
	多賀	鮎川町3-11-2	S22.5.3	178	157	335	10	5	31,096	19,265	7,594	16	100	7,710	[S49.3][S54.3][S60.3]	1,418	15	28	〃
	大久保	末広町5-12-94	S35.4.1	259	238	497	15	4	21,880	10,793	7,062	0	0	7,062	[S59.3][H23.3]	1,326	19	16	無
高等学校	河原子	東多賀町4-10-10	S43.4.1	74	85	159	6	2	24,658	9,952	2,037	0	20	2,057	[S58.6]	1,526	8	7	〃
	泉丘	水木町2-9-1	S26.4.1	260	255	515	15	4	35,807	15,399	6,029	523	60	6,612	[S49.5][H5.3][H12.10]	1,317	19	19	有
	台原	台原町1-9-1	S55.4.1	103	80	183	6	4	29,221	13,217	6,701	0	40	6,741	[S55.2]	1,176	10	22	〃
	日高	小水津町3-26-1	S22.5.3	184	161	345	11	3	24,961	12,354	6,631	0	0	6,631	[H23.12]	1,425	14	14	〃
	豊浦	川尻町3-11-1	S22.5.3	137	99	236	7	2	48,060	30,943	3,800	8	40	3,848	[S54.2][S60.3]	1,332	9	14	〃
	久慈	久慈町6-20-2	S22.5.3	139	121	260	8	2	23,586	10,542	4,991	9	80	5,080	[S52.12][S53.12][S57.3]	1,537	10	17	無
	坂本	石名坂町1-30-1	S22.5.3	50	60	110	3	2	22,482	8,600	2,118	29	20	2,167	[S57.3]	754	5	10	有
	中里	東河内町1,953	S22.5.3	12	7	19	3	0	15,204	8,771	0	1,488	112	1,600	[S41.3][S42.3]	713	3	8	〃
	十王	十王町友部600	S35.4.1	242	215	457	15	3	31,887	13,611	4,682	349	20	5,051	[S46.2][S57.3][S60.2][H6.12]	925	18	13	無
	計			2,151	1,980	4,131	133	41	408,503	200,577	70,620	3,006	595	74,221		18,649	174	231	一
日立特別支援学校	鮎川町3-11-2	S43.4.1	92	55	147	18	21	88	0	14,087	3,728	69	55	3,852	[S50.6][S54.12][S60.3]	669	39	3	有

※ 日立特別支援学校は、高等部を含み、特別支援学級に訪問学級2を含む。

令和元年5月1日現在（単位：人・㎡）

(2) 私立幼稚園及び認定こども園

種別	園名	所在地	電話	設置者名	園長氏名	職員(人)		園児数(人)					園地面積(㎡)	園舎面積(㎡)	園舎構造	認可定員(人)		
						副園長	教頭	その他	満3才	3才	4才	5才					計	学級数
幼稚園	三つ葉	石名坂町1-10-3	(52)2745	学校法人 根本学園	根本 杉子	1	6	2	0	20	22	30	72	5	3,562	764	鉄骨造	80
	石内	末広町4-6-1	(33)1363	学校法人 向が岡学園	浅野 好文	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15,436	1,867	鉄骨造	200
	日高	日高町2-10-10	(42)4536	学校法人 茅根学園	茅根 宣恵	0	10	2	0	49	52	70	171	6	7,033	2,205	鉄筋造 鉄骨造	300
	池の川	中成沢町2-8-29	(35)6872	学校法人 のひろ学園	副島由美子	0	9	2	0	21	34	30	85	4	4,233	994	鉄骨造 木造	175
	諏訪かおる	多賀町5-8-4	(33)3197	学校法人 小野学園	小野 芳樹	1	12	6	1	34	49	42	126	6	1,698	730	鉄骨造 木造	130
	ひばり	城南町2-7-22	(22)7302	学校法人 城南学園	額賀 力	1	4	2	0	11	17	12	40	3	3,240	571	木造	90
	すぎの子	東大沼町2-13-22	(36)1486	学校法人 佐藤学園	佐藤 かつ	1	4	0	1	12	5	7	25	4	2,374	507	木造	160
	めぐみが丘	森山町2-20-9	(52)3681	学校法人 加藤学園	加藤 巧	0	2	0	0	2	1	0	3	1	2,503	483	木造	105
	もみや	茂宮町188	(53)6578	学校法人 宮田学園	宮田 公友	1	15	2	0	41	59	60	160	6	3,349	1,993	鉄筋造 鉄骨造	280
計 9園																		
認定こども園	茨城キリスト教大学附属認定こども園みらい園	大みか町6-11-1	(53)9411	学校法人 茨城キリスト教学園	佐藤希久雄	1	14	2	0	35	34	31	100	6	5,354	1,501	鉄筋造	180
	茨城キリスト教大学附属認定こども園せいじ園	助川町1-16-1	(24)5111	学校法人 茨城キリスト教学園	佐藤希久雄	1	13	1	0	29	28	38	95	6	1,128	1,334	鉄骨造	160
	おおくぼ認定こども園大久保幼稚園	大久保町4-10-7	(33)2274	学校法人 公土園	岡部 和子	1	14	3	0	30	28	26	84	5	6,000	988	鉄筋・鉄骨・木造	160
	幼保連携型認定こども園おぎつ幼稚園	砂沢町364-9	(42)2029	学校法人 中崎学園	川崎ひろ子	0	13	5	0	25	27	22	74	6	7,148	1,878	鉄骨造	160
	認定こども園ほへみ水木わかば幼稚園	水木町1-20-12	(52)5991	学校法人 たみ学園	榎本恵美子	1	4	0	0	5	3	2	10	3	1,184	405	木造	73
	いしまち認定こども園	十王伊師3447-1	(39)5250	社会福祉法人 愛考会	佐藤 典子	0	29	5	0	7	9	7	23	6	6,017	2,244	鉄筋・鉄骨・木造	190
	こどものいえ認定こども園	日高町1-14-11	(43)6494	社会福祉法人 秀心会	見城美智子	0	24	11	0	5	0	5	10	3	2,829	977	鉄骨造 木造	110
	多賀さくら認定こども園	東金沢町4-2-1	(59)3355	社会福祉法人 聖愛会	鈴木 順子	0	34	11	0	7	7	5	19	6	3,603	1,699	鉄筋・鉄骨・木造	240
	認定こども園十王幼稚園・保育園	十王町友部566-1	(39)2613	学校法人 山の尾学園	櫻村 雅子	1	20	3	2	49	55	48	154	9	8,626	1,973	鉄筋・鉄骨・木造	280
	認定こども園ひがしなるさわ幼稚園	東成沢町3-16-8	(36)7539	学校法人 しみず学園	永山 直美	1	10	1	0	14	20	23	57	3	1,623	857	鉄筋造	95
認定こども園ほへみ学びの森わかば園	森山町1085-1	(33)8822	学校法人 たみ学園	榎本恵美子	1	11	5	0	11	11	14	36	3	7,605	977	木造	93	
すけ川幼稚園	諏訪町1-14-6	(33)1736	学校法人 助川学園	大江日出雄	0	7	7	0	13	17	18	48	3	1,332	531	木造	75	
計 12園																		

※ 園児数は、市外からの通園児童を含まない。認定こども園の園児は、教育認定子ども園の園児は、教育・保育教諭と読み替える。
 ※ 石内幼稚園は令和2年4月1日から休園中。

(3) 私立小学校、中学校、高等学校及び大学

(令和元年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	学 科	学級数	児童・生徒・学生数	
小 学 校	私立久慈川三育小学校	留町1097-2	—	3	19
中 学 校	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	—	9	249
	県立日立第一	若葉町3-15-1	—	6	240
高 等 学 校	県立日立第一	若葉町3-15-1	普通科 サイエンス科	18	710
	県立日立第二	鹿島町3-2-1	普通科・英語科	15	516
	県立日立工業	城南町2-12-1	全日制・機械科 電気科 情報電子科 工業化学科	15	525
			定時制・総合学科	4	29
	県立多賀	鮎川町3-9-1	普通科	18	715
	県立日立商業	久慈町6-20-1	商業科・情報処理科	15	594
	県立日立北	川尻町6-11-1	普通科	18	718
	私立明秀学園日立	神峰町3-2-26	全日制・普通科	30	1,042
			通信制・普通科	6	604
	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	普通科	25	802
私立翔洋学園	大みか町4-1-3	通信制・普通科	—	2,438	
私立科学技術学園日立	西成沢町2-17-1	通信制・機械科	9	222	
大 学	国立茨城大学	中成沢町4-12-1	(工学部) 機械工学科 生体分子機能工学科 マテリアル工学科 電気電子工学科 メディア通信工学科 情報工学科 都市システム工学科 知能システム工学科 (A)(B)	—	1,897
			(文学部) 文化交流学科 現代英語学科 児童教育学科	—	1,229
	私立茨城キリスト教大学	大みか町6-11-1	(生活科学部) 心理福祉学科 食物健康科学科	—	624
			(経営学部)経営学科 (看護学部)看護学科	—	286 354

※国立茨城大学の学生数は、日立キャンパスに在籍している人数

3 教育指導

(1) 日立市の学校教育目標

ア 「たくましい体をつくる」

「たくましい体をつくる」とは、いわゆる心身両面の真の健康づくりを意味するものであり、すこやかな精神とじょうぶな体を育てることである。最近の生活環境の変化として、遊び場がない、仲間と体を思い切り動かして遊ぶということもないなど、子どもたちの「たくましき」の育つ土壌が少なくなってきたことがあげられる。

これらに対処するためにも、学校体育、学校保健・安全、食育・学校給食、社会体育の充実そして、余暇活用能力の育成が求められている。特に、学校の教育活動の全体を通じて「生涯を健康に過ごす」「生涯にわたってスポーツを続けていく」等の態度を培うように心がけることである。

そのためには、子どもたちの豊かな体験活動を大事にし、それを通して「たくましき」を身に付けていくことが大切である。

イ 「科学する力を養う」

「科学する力を養う」とは、身近な社会、数理、自然事象に即して考え、その姿を客観的、分析的、総合的に把握し、真理を見出し、未知のもの、新しいものを発見し、創造していく問題解決の能力と態度を育てることである。

社会の急激な変化、情報化、国際化などの時代が進展する中で、科学する力の育成が肝要である。学校教育は、そのためにそれぞれの教科の本質や単元・教材の目標や内容に応じて、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した主体的な学習活動によって、基礎的・基本的な概念を具体的に把握できるようにすることが大切である。

また、これからは生涯学習の基盤を培うという観点に立ち、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指して、創造的な知性と技能を育てる教育を重視していかなければならない。

ウ 「思いやりの心を培う」

「思いやりの心を培う」とは、人間的な弱さや欠点を持っている人間同士が出会ったときに、相手の苦しみや悲しみの状況を相手の立場に立って（その人の苦しみ、悲しみ、そして、悩みを）共に感じ、少しでも心が和らぐように配慮する心情を育てることである。人間は苦しみや悩みを抱きながら精一杯生きているのが真実の姿であって、それへの共感と自覚なしには、本当の思いやりの心は発揮されないであろう。こうした心は言葉だけでなく、日常生活の種々の行為として現れてくるものである。思いやりの心を育てるには、教師がまず思いやりの心をもって子どもたちに接し、実践することである。さらに、教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな情操を養うことが大切である。

(2) 目指す子どもの姿「ひたちっ子」

- ・㊶ 広い視野で世界にはばたく 考える子
- ・㊷ たくましく未来を切り拓く 元気な子
- ・㊸ 地域を愛し心豊かに生きる やさしい子

ア 広い視野で世界にはばたく 考える子

国際的な視野に立って物事を考え、行動する力をもてるようにするためには、日本人としての誇りを大切にしながら、コミュニケーション能力や表現力などを高めていくことが重要で

基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことにより、社会に貢献する子どもの育成を目指します。

イ たくましく未来を切り拓く 元気な子

自らに誇りをもち、変革の時代にあってもたくましく未来を切り拓く力を身に付けるためには、すべての子がお互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合いながら、その個性と能力を十分に発揮できる環境をつくることが重要です。

少子化や核家族化の進展等により、子どもたちが他者と関わる機会が減少する中で、社会全体で子どもを育てる気運を高めることにより、根気強く最後まであきらめずに物事に取り組む子どもの育成を目指します。

ウ 地域を愛し心豊かに生きる やさしい子

高度情報化社会が到来し、社会・経済がグローバル化する中で、郷土日立の伝統や文化を学び、自然に親しみ、地域を愛することは、子どもたちの豊かな人間性と社会性を育むために重要です。

他者を思いやる心、美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、道徳教育や体験活動の充実を図りながら、豊かな心と創造力のあふれる子どもの育成を目指します。

(3) 学校教育施策の柱及び方向性

ア 確かな学力の定着と活用する力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 学びの連続性を大切にした教育活動の展開
- 家庭・地域と連携を図った様々な教育活動の充実
- 学力と感性を磨く読書活動の充実

イ 子ども一人一人に寄り添う教育の推進

- 自立と社会参加する力の育成
- 寄り添い支える指導力の向上
- いじめ・不登校対策の推進
- 教育相談体制の充実

ウ 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- 自己肯定感・自己有用感を高め、未来を切り拓いていく子どもの育成
- 感動する心を養う活動の充実
- 郷土を愛し、広く社会に貢献する子どもの育成
- 体力の向上と健康的な生活習慣の形成

エ 次代を担う力を磨き高める教育の推進

- 自ら学び、考え、社会を生き抜く力の育成
- 次世代を生き抜くための情報活用能力の育成
- 国際社会で活用でき、主体的に行動する態度や能力の育成
- 科学的思考力の基礎となる理数教育の充実

オ 学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり

- 学習環境の整備・充実
- 地域とともにある学校づくり
- 自ら危険を回避し行動できる安全・防災教育
- 保護者の負担軽減

カ すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり

- 子どもの居場所の整備・充実
- 学ぶ意欲に応える支援
- 配慮が必要な家庭への支援

(4) 令和2年度研究指定園・校

学校教育における教科・領域及び学習指導上の諸問題について、研究指定校を委嘱し、学校の実態に立脚した実践研究を進め、その成果を本市学校教育の振興に役立てるとともに、特色ある学校づくりを推進する。

〔茨城県教育委員会〕

学 校 名	指 定 内 容	指 定期間
日 高 小 学 校	授業力ブラッシュアップ研修（重点校 国語）	令和元年度～令和3年度
塙 山 小 学 校	小中学校における遠隔教育実証研究事業 （プログラミング教育）	令和2年度～令和3年度
滑 川 小 学 校	小学校理科教科担任制モデル校（市モデル校）	令和2年度
坂 本 小 学 校	小学校英語教育支援事業（実践マネジメント校）	令和2年度
多 賀 中 学 校	少人数指導の充実に関する実証研修（国語）	令和2年度
駒 王 中 学 校	茨城県教育研修センター「教職に関する研究」 （研究協力校）	令和元年度～令和2年度

(5) 中卒者の進路状況

（学校基本調査による）

卒年度	卒業生数 （人）	進学者数 （人）	進 学 率 （％）	県進学率 （％）	就職者数 （人）	就 職 率 （％）
24	1,933	1,914	99.0	98.5	6	0.3
25	1,939	1,926	99.3	98.5	3	0.1
26	1,959	1,949	99.5	97.5	1	0.1
27	1,936	1,927	99.5	98.0	4	0.2
28	1,906	1,893	99.3	97.2	1	0.1
29	1,870	1,860	99.5	98.9	2	0.1
30	1,682	1,674	99.5	97.4	0	0.0

(6) 長欠児童生徒の推移（30日以上）

（単位：％）

年度	小 学 校			中 学 校		
	日立市	茨城県	全 国	日立市	茨城県	全 国
H25	0.95 (0.31)	0.87 (0.35)	0.84 (0.37)	3.84 (3.09)	3.70 (2.78)	3.69 (2.81)
26	0.96 (0.34)	0.89 (0.37)	0.88 (0.39)	3.97 (3.40)	3.80 (2.85)	3.76 (2.88)
27	1.02 (0.19)	1.00 (0.36)	0.97 (0.43)	4.15 (3.28)	3.96 (2.97)	3.94 (2.95)
28	1.12 (0.29)	1.04 (0.51)	1.04 (0.47)	3.71 (2.81)	4.06 (3.14)	4.21 (3.14)
29	1.09 (0.44)	1.05 (0.57)	0.87 (0.54)	3.92 (2.81)	4.01 (3.10)	3.96 (3.25)
30	0.92 (0.45)	1.23 (0.81)	1.30 (0.70)	3.74 (2.23)	4.38 (3.45)	4.76 (3.65)
R元	1.43 (0.79)			5.33 (4.18)		

※（ ）内は「不登校」のみの比率

(7) 令和元年度体力・運動能力調査平均値の比較

平均値は市、県とも令和元年度のもの

◎印は市の平均値が県の平均値を上まわっているもの

○印は市の平均が県の平均値と同じもの

(茨城県学校保健会の資料による)

	男 子																	
	小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		中 1		中 2		中 3	
	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県
握力 (kg)	◎9.7	9.4	11.1	11.2	◎13.0	12.9	◎15.0	14.7	16.9	17.0	◎20.1	20.0	23.9	24.1	29.8	30.0	◎34.9	34.9
上体起こし (回)	◎13.7	13.2	◎16.5	15.8	◎18.7	18.3	◎21.2	20.3	◎21.9	21.8	◎24.6	23.5	◎25.3	25.3	◎29.8	28.1	◎32.0	30.3
長座体前屈 (cm)	◎28.6	27.2	◎29.7	29.7	31.0	31.8	◎34.8	33.6	◎38.4	36.6	◎42.0	38.9	◎43.4	42.5	◎49.9	46.9	◎53.5	50.2
反復横とび (回)	◎29.5	28.6	32.8	33.1	36.3	37.3	◎41.7	41.4	◎44.4	44.4	◎48.1	46.9	◎50.7	49.6	◎54.1	53.6	◎57.6	55.7
20mシャトルラン (回)	◎25.7	22.2	◎34.3	32.6	◎41.9	41.2	◎51.2	49.4	◎55.2	54.5	◎62.3	61.4	◎71.4	70.4	◎83.1	88.8	◎100.3	94.7
50m走 (秒)	◎11.3	11.5	◎10.5	10.6	◎10.0	10.1	◎9.6	9.6	◎9.2	9.3	◎8.8	8.9	◎8.5	8.5	◎7.7	7.8	◎7.3	7.4
立ち幅とび (cm)	118.7	116.9	128.4	128.5	136.4	138.6	◎149.2	146.7	◎155.6	155.4	165.8	165.9	180.9	182.1	◎202.2	199.5	◎217.1	213.6
ソフト・ハンドボール投げ (m)	◎8.6	8.5	11.2	11.5	13.8	15.1	◎18.7	18.7	21.4	21.8	25.0	25.3	◎17.7	17.6	22.2	21.3	◎24.2	23.8
合計点 (点)	◎34.3	32.6	◎40.3	40.0	45.7	46.3	◎53.0	51.8	◎57.4	56.7	◎63.5	62.0	◎36.3	35.8	◎47.7	45.2	◎54.4	51.5

	女 子																	
	小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		中 1		中 2		中 3	
	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県
握力 (kg)	◎9.3	9.0	◎10.5	10.5	◎12.5	12.3	◎14.6	14.1	16.7	16.8	◎20.2	19.9	◎22.1	22.1	◎25.4	24.6	◎26.4	26.1
上体起こし (回)	◎13.7	12.8	◎15.8	15.5	◎18.3	17.6	◎20.7	19.9	◎21.9	21.4	◎23.0	22.5	◎23.6	22.8	◎26.4	25.0	◎27.2	26.0
長座体前屈 (cm)	◎30.9	29.6	◎32.5	32.5	◎35.2	34.8	◎38.7	37.5	◎43.6	41.2	◎47.5	44.2	◎47.5	46.2	◎52.5	49.9	◎54.6	52.3
反復横とび (回)	◎28.8	27.8	31.9	32.0	35.7	36.2	◎40.4	40.2	◎43.2	43.2	◎46.2	45.4	◎46.7	46.7	◎48.9	48.4	◎49.8	49.2
20mシャトルラン (回)	◎21.3	19.1	26.6	26.8	◎34.0	33.4	◎42.4	40.9	◎48.0	47.9	◎54.7	53.3	◎56.4	55.7	◎67.4	63.6	◎65.5	62.9
50m走 (秒)	◎11.5	11.7	◎10.8	10.9	◎10.2	10.3	◎9.8	9.9	◎9.3	9.4	◎8.9	9.0	◎8.9	8.9	◎8.4	8.6	◎8.3	8.5
立ち幅とび (cm)	◎111.9	111.4	119.5	122.2	129.9	132.1	◎143.3	141.3	151.0	151.5	160.3	160.7	166.1	168.3	◎177.8	174.7	◎180.3	177.2
ソフト・ハンドボール投げ (m)	◎6.2	6.2	7.8	8.1	10.0	10.2	12.4	12.7	14.7	14.9	16.6	17.1	11.9	12.0	◎14.1	13.7	◎15.1	14.7
合計点 (点)	◎35.4	33.6	◎41.3	41.3	◎48.1	47.8	◎55.3	54.1	◎60.7	60.1	◎66.5	65.1	◎48.3	47.9	◎56.9	54.1	◎59.0	56.6

4 教育研究所事業

(1) 基本方針

日立市の学校教育の充実・発展に寄与するため、教育課題についての先導的・実践的な調査研究、教職員の資質向上のための研修、教育相談、教育情報の収集・提供等を行う。

(2) 重点事項

- ア 学校教育に関する専門的・技術的な事項の調査研究の充実
- イ 教育専門職としての資質向上のための教職員研修の充実
- ウ 幼児・児童生徒支援のための教育相談の充実
- エ 教育情報の収集・提供の充実

(3) 事業内容

ア 調査研究に関する事業

今日的な教育課題に関する調査研究を実施し、学校の教育活動がより円滑に推進できるよう成果の普及に努める。

- (ア) 教育課題の解決のための専門的・技術的な調査研究
- (イ) 幼児・児童生徒の学習や生活に関する意識や実態についての調査研究
- (ウ) 幼児・児童生徒理解のための教育的資料の作成や教育情報の収集と提供
- (エ) 教育課題調査研究会議の設置
 - ・調査研究員に委嘱した教職員による今日的な教育課題についての実態調査
 - ・本市教育の充実・発展を図るための調査研究と成果の普及

イ 教育相談に関する事業

様々な悩みや不安をもつ幼児・児童生徒、保護者及び関係教職員に対する教育相談を実施するとともに、不登校解消を目指して児童生徒への支援活動を行う。

- (ア) 学校訪問相談
 - 面接相談…主に不登校や登校しぶりの児童生徒や保護者、教職員との面談
 - 家庭訪問…不登校や登校しぶりの児童生徒の家庭への訪問
 - 事例検討…生徒指導部員会や個別のケース会議への出席
- (イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」（多賀教室、日立教室）の運営
 - 不登校に陥っている児童生徒の生活と活動の場として「ちゃれんじくらぶ」を設置し、仲間とのふれあいを通して自立心や適応力を養い、社会生活への自立を目指した支援を行う。
- (ウ) 不登校対策支援
 - 体験活動の実施（栽培、制作、調理、野外活動、市内遠足等）
 - 保護者への支援（教育相談、家庭訪問、保護者の集い等）
 - 不登校に関する研修会の実施
- (エ) 教育相談員の研修
 - 相談活動に見られる事例研究や協議
 - 専門的な分野の研修

ウ 教職員の研修に関する事業

本市教育の充実・発展を目指して、教育実践上の課題解決のための研修と教育専門職としての資質・職能の向上を図る。

- (ア) 職層や経験に応じた研修
- (イ) 専門性を高める研修
- (ウ) 特別研修
- (エ) 共催研修（幼稚園教育研究会・市教育研究会専門部）
- (オ) その他の研修

エ 日立市こども発達相談センターの運営

発達障害に関わる悩み相談、心理検査、小集団によるスキル指導、医療相談、幼稚園・保育園等への巡回訪問、理解啓発のためのリーフレットの配布及び研修会等を実施する。

- (ア) 所内相談…研究所内の相談室で教育相談員が対応する面接相談・電話相談
- (イ) 巡回訪問…教育相談員が保育園・幼稚園・認定こども園に訪問し情報交換を実施
- (ウ) 医療相談…研究所内の相談室で小児科・心療内科等の医師が対応する相談
- (エ) 心理検査…研究所内で教育相談員によるWISC・田中ビネー等の心理検査を実施、小中学校で派遣した心理相談員による心理検査を実施
- (オ) 小集団活動…少人数によるソーシャルスキルの手法を取り入れた「なかよし教室」の実施
- (カ) 各種研修会…教職員・保育士・保護者・市民対象の発達障害に関する研修会、教職員対象の発達障害対応実技研修会の実施
- (キ) 小集団活動実践研修…幼稚園教諭及び保育士を対象に、なかよし教室における指導支援を通じたソーシャル・スキル・トレーニングを中心とする指導力向上を図る研修の実施
- (ク) 関係機関との連携…保健所の発達相談支援事業への参加（年6回）、日立市子どもセンターの総合相談への派遣（月2回）、健康づくり推進課の5歳児健康診査への協力

オ 広報に関する事業

- (ア) 広報紙「りさーち」の発行
- (イ) 研究紀要・研究報告書の発行
- (ウ) 教育相談案内のリーフレット作成、配布
- (エ) 特別支援サポート体制のリーフレット作成、配布
- (オ) ホームページによる情報提供

(4) 令和元年度各種事業の実施状況

ア 調査研究

令和元年度「研究紀要」及び「研究報告書 日立市の小学校プログラミング教育 ～Let's PROGRAMMING for Hitachi kids!～」の作成、発行

イ 教育相談

(ア) 学校訪問相談の概要

○相談人数と延べ相談件数 (実数：相談者の人数、延べ数：相談を受けた件数)

小学生		中学生		保護者		教職員		合計	
実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
344	1,164	152	750	126	352	83	234	705	2,500

○学年別相談人数 (人)

種 別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学生	23	31	72	62	67	89	344
中学生	62	38	52				152

○主訴別相談人数

(相談内容について) (人)

種 別	小学生	中学生	合計
友人関係に関する相談	141	85	226
家庭生活に関する相談	30	18	48
身体・健康に関する相談	3	10	13
教職員との関係に関する相談	6	5	11
学業・進路に関する相談	6	2	8
無気力に関する相談	2	6	8
非行に関する相談	0	0	0
いじめに関する相談	7	2	9
その他	149	24	173
合計	344	152	496

(不登校との関係) (人)

種 別	小学生	中学生	合計
相談内容のうち、不登校に関連付けられる相談	46	68	114
相談内容のうち、不登校との関連が無い相談	298	84	382
合計	344	152	496

(イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の概要

- 正式入級：中学生 18人（多賀教室9人、日立教室9人）
- 体験活動（常時活動の中での創作活動、行事や屋外での体験活動など）
- 学習支援
- 家庭や学校との連携（調理活動・在籍校教職員の参観、保護者会）（年3回）
- 不登校対策支援事業への参加

(ウ) 不登校対策支援事業の概要

- 体験活動（歴史・動物ふれあい体験（郷土博物館・かみね動物園）、神峰山ハイキング）
- 不登校に関する研修会（1回）

(エ) 教育相談員研修（2回）

ウ 教職員研修

(ア) 職層や経験に応じた研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	初任者研修会（2回）	70	初任者としての心構えと本市の学校教育への理解（含市内巡り）
2	学級経営研修会	42	望ましい学級づくりを目指すライフスキル教育
3	特別支援教育研修会（2回）	103	特別支援教育体制の構築と支援
4	幼児教育と小学校教育の接続のための研修会	64	幼児教育と小学校教育の接続
5	運動部活動指導法研修会	36	運動部活動の柔軟な運営の仕方や効果的・効率的な指導法

(イ) 専門性を高める研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	教師力パワーアップ講座①（道徳科）	53	考え、議論する道徳の授業モデルの検討
2	教師力パワーアップ講座②（プログラミング教育）	30	プログラミング的思考の意味と実技研修
3	教育研究論文研修会（2回）	35	教育研究論文の構想と書き方について
4	Q U 活用研修会（2回）	63	Q Uの結果から見えてくる課題の把握と目指す学級像へのアプローチ

(ウ) 特別研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	教育講演会	55	今日的な教育課題に関すること テーマ「自分流から∞（無限大）の可能性を探る」
2	一般教養研修会	56	ネット・ゲーム依存の予防と対応

(エ) 共催研修（幼稚園教育研究会・市教育研究会専門部）

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	幼稚園・こども園学級経営研修会	57	幼児の主体的な活動を引き出す環境構成の工夫
2	幼稚園・こども園実技研修会	57	普通の保育に活用できるリズム遊びや集団遊び
3	特別支援教育夏季合同研修会	202	特別支援教育と授業のユニバーサルデザイン化
4	社会科実技研修会	36	授業に生かす郷土博物館の活用方法
5	体育実技研修会	55	ベースボール型ゲームの指導法
6	道徳科指導法研修会	52	「特別の教科 道徳」の授業改善と評価の在り方
7	発達障害の理解と支援研修会*	200	発達支援が必要な子どもの多様性の理解と支援について

※ 保護者・一般市民も受講対象

(オ) その他の研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	不登校に関する研修会*	53	不登校児童生徒の保護者を支援するための研修
2	発達障害の理解と支援研修会（3回）*	283	発達障害児の保護者支援及び教育・保育職の専門スキル向上のための研修

※ 保護者・一般市民も受講対象

エ こども発達相談センターの概要

(ア) 所内相談の概要

○月別相談件数（延べ件数）

(件)

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接相談	39	24	39	56	53	48	55	50	47	41	57	53	562
電話相談	12	27	33	43	22	23	22	31	22	21	25	19	300
合計	51	51	72	99	75	71	77	81	69	62	82	72	862

※面接相談の延べ件数562件に対する実人数は193人

○面接相談者の年齢構成の内訳（合計193人）

(人)

種別	4歳児	5歳児	6歳児	小学1年	小学2年	小学3年
人数	2	33	34	19	26	15
種別	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
人数	16	15	17	7	5	4

○面接相談の内訳（合計562件）

種別	件数
発達障害に関する相談	424
知的障害に関する相談	26
その他	27
不登校・登校しぶり	120
重複	35

(イ) こども発達相談センター主催研修会

- 発達障害の理解と支援研修会（3回）

5 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況及び児童生徒数（種類別、学校別、学年別）

ア 知的障害 「令和元年度教育支援委員会審議対象者の就学状況」（P27参照）

イ 言語障害、自閉症・情緒障害

（単位：人）

学 年		1	2	3	4	5	6	合計
小学校	助川小（言語）	—	2	1	—	1	—	4
	助川小（自閉・情緒）	4	2	5	2	4	1	18
	会瀬小（自閉・情緒）	—	1	4	3	1	1	10
	宮田小（自閉・情緒）	2	3	4	2	5	3	19
	滑川小（自閉・情緒）	—	3	3	4	5	4	19
	仲町小（自閉・情緒）	—	—	4	4	4	5	17
	中小路小（自閉・情緒）	—	—	1	3	1	1	6
	大久保小（自閉・情緒）	1	2	2	—	4	2	11
	河原子小（自閉・情緒）	1	1	1	1	1	4	9
	成沢小（自閉・情緒）	4	6	—	2	—	2	14
	諏訪小（自閉・情緒）	—	4	—	1	—	1	6
	水木小（自閉・情緒）	1	2	5	1	10	—	19
	大みか小（自閉・情緒）	—	2	5	5	4	1	17
	大沼小（自閉・情緒）	3	1	4	5	2	3	18
	金沢小（言語）	1	—	2	—	—	—	3
	金沢小（自閉・情緒）	1	6	4	—	2	—	13
	塙山小（自閉・情緒）	4	3	3	2	3	2	17
	油縄子小（言語）	—	1	3	—	—	1	5
	油縄子小（自閉・情緒）	1	—	4	2	2	4	13
	田尻小（自閉・情緒）	2	2	6	2	5	9	26
	日高小（言語）	2	2	2	—	—	—	6
	日高小（自閉・情緒）	2	2	2	3	2	3	14
	豊浦小（自閉・情緒）	—	3	5	—	4	3	15
	久慈小（言語）	—	—	—	1	—	—	1
	久慈小（自閉・情緒）	1	—	3	1	—	2	7
	坂本小（自閉・情緒）	2	2	3	1	—	2	10
櫛形小（自閉・情緒）	—	1	3	4	6	4	18	
山部小（自閉・情緒）	—	2	1	1	—	—	4	
中学校	助川中（自閉・情緒）	3	1	2	—	—	—	6
	平沢中（自閉・情緒）	1	—	1	—	—	—	2
	駒王中（自閉・情緒）	3	—	1	—	—	—	4
	滑川中（自閉・情緒）	5	3	1	—	—	—	9
	多賀中（自閉・情緒）	6	9	4	—	—	—	19
	大久保中（自閉・情緒）	6	5	2	—	—	—	13
	河原子中（自閉・情緒）	4	2	1	—	—	—	7
	泉丘中（自閉・情緒）	4	4	4	—	—	—	12
	台原中（自閉・情緒）	5	7	6	—	—	—	18
	日高中（自閉・情緒）	4	3	4	—	—	—	11
	豊浦中（自閉・情緒）	1	2	—	—	—	—	3
	久慈中（自閉・情緒）	—	—	3	—	—	—	3
	坂本中（自閉・情緒）	1	1	1	—	—	—	3
十王中（自閉・情緒）	5	4	4	—	—	—	13	

(2) 日立特別支援学校児童生徒数（学年別、症状別）

（単位：人）

部	学年	在籍数	療育手帳					視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	(車椅子利用)	病虚弱	自閉症	ダウン症	てんかん
			㊤	A	B	C	なし								
小学部	1	10	0	2	2	1	5	1	2	5	5	1	4	1	2
	2	5	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0
	3	10	0	2	2	2	4	0	1	2	1	1	2	1	2
	4	12	1	2	4	3	2	0	0	0	1	1	4	1	3
	5	10	1	1	2	6	0	0	0	1	0	1	7	0	0
	6	7	1	0	3	2	1	0	0	0	0	1	7	0	1
	小計	54	4	7	16	15	12	1	3	8	7	5	29	3	8
中学部	1	11	1	2	2	5	1	0	0	1	1	1	7	0	3
	2	12	2	2	5	3	0	0	0	1	1	2	8	1	1
	3	15	1	4	3	7	0	0	0	0	0	1	9	1	2
	小計	38	4	8	10	15	1	0	0	2	2	4	24	2	6
高等部	1	26	1	4	4	15	2	0	2	2	2	0	10	1	2
	2	12	1	4	2	5	0	0	0	1	0	0	1	0	4
	3	17	3	3	6	5	0	0	0	0	0	0	2	2	2
	小計	55	5	11	12	25	2	0	2	3	2	0	13	3	8
合計	147	13	26	38	55	15	1	5	13	11	9	66	8	22	

(3) 日立市教育支援委員会

ア 障害児の障害に応じた適正な就学指導の円滑な運営を図るため、教育委員会の諮問に応じ、次の事項について審査する。

(ア) 学齢期にある知的障害者、自閉症・情緒障害者、視覚障害者、聴覚障害者、言語障害者、肢体不自由者、病弱者及び重複障害者の判定

(イ) 学齢期にある就学猶予者及び小学校入学予定者のうち障害の疑いのある者の就学前の諸検査及びそれらの就学適否の判定

(ウ) 幼稚園入園予定者のうち障害の疑いのある者の就園前の諸検査及び適切指導

(エ) その他、適正な就学指導のため必要と認める事項

イ 令和元年度教育支援委員会審議対象者の就学状況（P27参照）

ウ 委員構成（P69参照）

令和元年度教育支援委員会審議対象者の就学状況

区分 校名	小 学 校 通常の学級 (要観察者を含む)		小 学 校 特別支援学級 (知的障害)		小 学 校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		中 学 校 通常の学級 (要観察者を含む)		中 学 校 特別支援学級 (知的障害)		中 学 校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		特 別 支 援 学 校 (言語障害) (小学校のみ)		日 立 特 別 支 援 学 校 (重複障害を含む)		水 戸 支 援 学 校		常 陸 太 田 市 特別支援学校		盲 聾 学 校		学 校 実 際		市 外 転 出 等 実 際		R 2 年 度 特 別 支 援 学 校 (知的障害) 見 童 生 徒 数	
	判定 数	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際
助川小	5	3	1	2	1	2	1	1																			12	
会瀬小	4	2		2		2																						10
宮田小	8	2	3	5		5								1														9
滑川小	5	2	2	2		2																						12
仲町小	3	1		2		2																						-
中小路小	2	2	2	2		2																						8
大久保小	8	2	3	2	2	2																						12
河原子小	2	2	1	1		1																						3
成沢小	9	2	6	5		3																						4
諏訪小	6	4	5	1		1								1														5
水木小	8	2	4	2	2	2								2														12
大みか小	10	2	4	4	2	4																						4
大沼小	2	1	1	1		1																						11
金沢小	9	1	2	7		7								1														7
塙山小	9	1	2	6		3																						11
油縄子小	6	2	2	4		4																						4
田尻小	3	2	2	1		1																						4
日高小	9	5	4	2	3	2																						16
豊浦小	4	1	1	3		3																						11
久慈小	6	1	2	2		2																						7
坂本小	2	1		2		2																						4
東小沢小																												9
中里小																												-
中里小																												-
柳形小	15	4	5	4	4	6																						15
山部小	1		1	1																								3
助川中	7																											5
平沢中	2																											-
駒王中	15																											10
滑川中	23																											9
多賀中	16																											6
大久保中	15																											10
河原子中	7																											8
泉丘中	21																											8
台原中	18																											11
日高中	9																											3
豊浦中	8																											7
久慈中	5																											5
坂本中	4																											5
中里中	1																											4
十王中	8																											-
日立特別支援																												6
合 計	295	35	49	30	28	61	52	28	50	42	44	82	58	5	1	12	3									8	278	

※ 校名の太字は特別支援学級（知的障害）設置校

6 幼稚園

(1) 園児数及び就園率

区分	年度	平成28		29		30		令和元		2	
	年齢別	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
	幼児数(人)	1,282	1,285	1,214	1,285	1,196	1,214	1,167	1,189	1,097	1,161
公立	園数(園)	13 (1)		13 (1)		13 (1)		12 (1)		9 (2)	
	園児数(人)	212 (16.5)	211 (16.4)	153 (12.6)	215 (16.7)	114 (9.5)	162 (13.3)	96 (8.2)	118 (9.9)	59 (5.4)	94 (8.1)
私立	園数(園)	20 (10)		20 (10)		21 (12)		21 (12)		20 (12)	
	園児数(人)	579 (45.2)	615 (47.9)	557 (45.9)	567 (44.1)	527 (44.1)	552 (45.5)	516 (44.2)	514 (43.2)	461 (42.0)	480 (41.3)

- ※ 1 幼児数は、各年度4月1日現在の日立市内住民登録者数
 2 園数欄の（ ）内は、認定こども園の数（内数）。なお、園数には休園中の園は含まない。
 3 園児数は、市外からの通園児を含まない。
 4 園児数欄の（ ）内は、幼児数に対する就園児数の割合（単位：％）

(2) 預かり保育

平成22年10月から大沼幼稚園と田尻幼稚園、平成27年4月からみやた認定こども園、令和2年4月からはなやま認定こども園で試行している。（令和元年度の延べ利用人数 大沼幼稚園700人、田尻幼稚園324人、みやた認定こども園20人）

なお、私立幼稚園及び認定こども園では、全園で実施している。

(3) 私立幼稚園就園奨励費補助金

国の基準に従い、昭和47年度の制度開始から実施した補助金である。ただし、4歳児については、昭和54年度から、3歳児については、平成3年度から補助対象とした。平成12年度からは、第2子、第3子以降の単価を新設するとともに、満3歳児を補助対象に加えた。

なお、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、新制度に移行しない私立幼稚園に幼児が在籍する世帯のみを補助対象としたが、平成31年4月に市内私立幼稚園は全て新制度に移行した。

令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化が実施されたことに伴い、令和元年9月分までの補助にて終了となった。

7 保護者負担軽減対策

(1) ランドセル・スクールカバン予算措置

保護者の経済的負担軽減及び入学祝いとして、新入学児童に対して薄型で軽いファスナー式ランドセルを贈呈するため、昭和50年度から予算措置している。

また、新たに令和2年度新入学生徒に対して大容量で丈夫なスクールカバンを贈呈するため、令和元年度から予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
ランドセル		11,723	11,122	11,107	11,072	11,096	10,657	10,834	11,687	11,301	11,753
スクールカバン		—	—	—	—	—	—	—	—	14,850	12,870

(2) 氏名ゴム印予算措置

私費負担となっていた新入学児童生徒用氏名ゴム印を、昭和53年度から予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
氏名ゴム印		301	287	300	319	322	268	292	292	266	253

(3) 部活動関係予算措置

部活動は自主的参加であるので、原則として私費負担としながら、スポーツ・文化活動を通じて心身ともに健全な青少年を育成する見地から、より活発な活動及び積極的な参加を促進するため、関係費用の一部を予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区 分	年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2
部活用ユニホーム、ボール類		3,630	3,630	3,630	3,630	3,630	3,630	3,703	3,698
吹奏楽部用楽器		3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775
各種大会参加補助		14,173	14,173	14,173	14,173	14,173	14,173	14,173	14,173

(4) 自転車通学生徒用ヘルメット購入費補助

遠距離通学等の理由により、自転車通学が認められた生徒のヘルメット購入費を援助することにより、登下校の交通安全対策と保護者の負担を軽減するため予算措置している。

(対象校) 豊浦中学校、久慈中学校、坂本中学校、中里中学校、十王中学校

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区 分	年 度	平成27	28	29	30	令和元	2
ヘルメット購入費補助		87	87	87	87	87	87

8 学校施設整備状況

今日の学校施設は、児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、地震等災害時における避難所としての役割、学校施設開放やコミュニティ活動等の地域住民の活動拠点としての役割など多様な機能が求められている。

本市の学校施設は、昭和50年前後に建設され、建築後40年が経過し老朽化が進んだ施設が全体の6割を占めている。これらの施設には耐震性に課題があることから、避難所となる屋内運動場については、平成22年度からの2年間で大規模改造と併せて耐震補強を実施し、校舎については、平成24年度からの3年間で大規模改造を先送りとして耐震補強のみを実施した。このことにより、現在の耐震化率は約95%となっている。残る未耐震の施設については、老朽化が著しいことから改築により耐震化を図っている。

また、耐震補強のみを実施した校舎の老朽化対策については、トイレの改修や普通教室等への情報通信ネットワーク環境整備など施設の環境改善を実施することにより当面の課題に対処しつつ、校舎の長寿命化や健全な学習・生活環境の改善を図るための大規模改造に取り組んでいる。

主要事業状況

(令和2年4月現在)

年 度	事 業 内 容
平成 26	油縄子小学校校舎大規模改造事業
	校舎耐震補強工事（滑川小、山部小、中里小、東小沢小、滑川中、豊浦中、十王中、日立特別支援）
	屋内運動場等天井等落下防止対策工事（小学校14校）
27	諏訪小学校校舎改築事業
	屋内運動場等天井等落下防止対策工事（日立特別支援学校、小学校9校、中学校14校）
	トイレ改修事業（田尻小、久慈中）
28	諏訪小学校校舎改築事業
	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（助川小、中小路小、大久保小、滑川中、台原中）
29	諏訪小学校校舎改築事業
	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	トイレ改修事業（宮田小、塙山小、滑川小、多賀中、泉丘中）
30	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	トイレ改修事業（仲町小、大みか小、中里小、櫛形小、豊浦中、十王中）
令和 元	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（河原小、金沢小、駒王中）
	普通教室等空調設備設置事業（小学校19校、中学校12校）
屋内運動場トイレ整備事業（滑川小、会瀬小、坂本小、成沢小、大久保小、河原小、多賀中）	
2	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（滑川小、成沢小、河原小）
	屋内運動場トイレ整備事業（小学校12校、中学校2校）
	情報通信ネットワーク環境整備事業（小学校22校、中学校14校）

9 教材教具整備状況

(1) 教材整備及び図書整備

教材整備については、授業の形態や指導方法も多様化していることから、引き続き教材教具の整備充実を計画的に進めていく。

特に学校図書については、子どもの読書活動推進法の成立や確かな学力育成事業の実施等により学校図書館の重要性が高まっていることから、教科書改訂を踏まえ、新たに授業で使う図書の整備を図る。

(2) 教育用コンピュータ等の整備

情報技術の急速な発達により、社会の様々な分野で情報化が進んでいる。また、令和2年度から順次実施される新学習指導要領では、小学校においてプログラミング教育を必修化するなど、情報活用能力を言語能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けている。

令和2年度は、文部科学省の「GIGAスクール構想」を踏まえて、児童生徒1人1台のコンピュータ及び高速な情報通信ネットワーク並びにプロジェクター等の整備・拡充を図り、わかりやすい授業づくりを支援するとともに「情報活用能力」及び「自ら学び、考え、行動する力」の育成を図る。

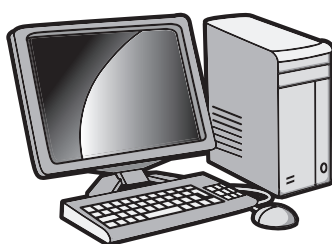
学校におけるコンピュータ等の整備状況

（令和2年4月1日現在）

	小学校25校	中学校15校	特別支援学校1校	計
台数(台)	1,800	1,256	77	3,133

※内訳 コンピュータ教室 各校8～80台（学校規模に応じて）
教職員用 1人1台

※全てのコンピュータから、インターネットを安全に利用することができる。



10 保健と安全

(1) 学校保健

学校における園児及び児童生徒並びに教職員の定期健康診断や結核検診については、市医師会・歯科医師会及び公益財団法人日立メディカルセンター、株式会社日立製作所日立総合病院等との連携により実施している。特に、小学1年生・中学1年生及び特別支援学校の全児童生徒については、定期健康診断とともに、心疾患の早期発見のため、心臓検診を公益財団法人日立メディカルセンターに委託し実施している。また、尿検査は、公益財団法人茨城県総合健診協会に依頼し実施している。

また、小・中学校における児童生徒の心の健康相談等に応ずるため、学校心療内科医を設置し、心の健康に問題を持つ児童生徒に対し、専門的立場から相談及び助言、指導を行っている。

教職員については、全員を対象に尿、貧血、肝機能、血中脂質、心電図検査、結核検診間接撮影等の一般健康診断を、40歳以上の者には胃部検診を実施している。

また、平成6年度からは、日立養護学校（平成24年4月1日から日立特別支援学校に改称）教職員、平成7年度からは、小・中学校養護教諭も対象に加えて、B型肝炎予防接種を実施している。

学校環境衛生については、市学校薬剤師会の協力の下に、飲料水水質検査、プール水質検査、教室照度検査、空気検査等の検査・測定を行うとともに、不快害虫の生息調査、駆除を行い、児童生徒がより良い環境で学習できるよう努めている。

また、児童生徒個々の身体測定の結果、スポーツテスト等の記録を電算処理し、各人毎の健康度（体格・体力・運動能力等）を判定し、これらを健康管理、健康指導教育の資料として活用する健康度判定事業委託を実施している。

学校医・歯科医・薬剤師

令和2年4月1日現在（単位：人）

	学 校 医	管 理 医	歯 科 医	特別支援学級医	心療内科医	薬 剤 師
幼 稚 園	7	7	7	0	0	7
小 学 校	43	25	39	1	2	25
中 学 校	25	15	21	1	2	15
特別支援学校	4	1	2	0	0	1
計	79	48	69	2	4	48

※管理医は学校医の内数

主な疾病異常の状況（児童・生徒疾病別被患率比較）

（単位：％）

年度	区 分		う 歯		視 力 (1.0未満)	口腔咽喉 頭疾患 ・異常	結膜炎 他の眼病 含む	心臓疾患	ぜんそく	四 肢・ せき柱・ 胸郭異常
			処 置 完了者	未 処 置 者						
平成 28	小学校	日立市	24.2	22.9	33.2	1.7	30.6	1.2	6.7	0.9
		全 国	24.7	24.2	31.5	1.4	5.4	0.7	3.7	1.8
	中学校	日立市	18.9	15.7	54.2	0.2	30.7	1.1	4.0	1.4
		全 国	21.0	16.5	54.6	0.7	5.1	0.8	2.9	3.4
29	小学校	日立市	23.9	23.4	33.4	1.1	26.8	1.6	6.6	1.1
		全 国	24.7	24.2	31.5	1.4	5.4	0.7	3.7	1.8
	中学校	日立市	16.5	18.5	54.5	0.4	30.6	1.7	5.1	1.4
		全 国	21.0	16.5	54.6	0.7	5.1	0.8	2.9	3.4
30	小学校	日立市	22.2	22.2	35.0	2.2	27.0	1.6	6.9	0.9
		全 国	23.1	22.2	34.1	1.3	5.7	0.8	3.5	1.1
	中学校	日立市	20.3	16.6	54.4	0.3	32.1	1.4	4.4	1.6
		全 国	20.4	15.0	56.0	0.8	4.9	1.0	2.7	2.4
令和 元	小学校	日立市	22.4	21.8	36.7	2.0	30.9	1.8	7.0	0.4
		全 国	23.1	21.7	34.6	1.3	5.6	0.9	3.4	1.1
	中学校	日立市	20.7	15.9	59.3	0.3	41.2	1.5	6.8	0.5
		全 国	19.8	14.2	57.5	0.7	5.4	1.0	2.6	2.1

(2) 学校安全

災害発生の状況は、小学校では休憩時間での切り傷、打撲が多く、また中学校においては、部活動での骨折、打撲が多くみられる。小・中学校共通して、体育時のけがも多くみられる。

このような状況を踏まえ、今後の対策としては、各学校へ各種資料等を提供し、学校安全推進のための啓もうを図るとともに、児童生徒の日頃の心身状態を把握し、登下校を含め教育活動全体を通して安全についての指導徹底を図っていきたい。

災害発生件数

（単位：件）

年 度	小 学 校	中 学 校	計
平成27年度	522	649	1,171
平成28年度	504	521	1,025
平成29年度	470	451	921
平成30年度	432	637	1,069
令和元年度	419	450	869

月別災害発生件数

(単位：件)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	年度												
小学校	26	42	45	49	35	57	39	38	46	33	27	47	27
	27	56	32	30	43	31	23	38	52	70	43	54	50
	28	40	20	41	43	32	16	24	58	58	57	65	50
	29	24	57	46	26	1	65	55	47	42	41	35	31
	30	26	40	51	19	0	41	66	57	36	25	37	34
	令和元	23	39	33	28	1	45	50	60	44	28	40	28
中学校	26	39	31	53	58	67	46	69	81	55	34	62	41
	27	68	64	68	47	28	81	78	42	39	46	52	42
	28	50	33	67	45	63	46	68	73	52	44	52	56
	29	40	29	44	48	67	13	62	58	51	34	32	43
	30	37	63	48	34	18	62	41	19	27	30	43	29
	令和元	28	51	52	31	21	56	44	38	32	41	36	20

傷害別災害発生件数

(単位：件)

	傷害	骨折	ねんざ	切・挫創	打撲	眼・角膜	歯冠	その他
	年度							
小学校	26	89	52	33	215	108	6	90
	27	100	63	30	216	79	12	101
	28	107	75	30	184	72	26	112
	29	88	84	26	192	69	26	75
	30	94	54	22	196	55	21	66
	令和元	90	61	21	175	36	20	72
中学校	26	156	138	17	230	53	6	108
	27	147	127	20	215	62	7	133
	28	145	103	11	183	50	3	76
	29	129	94	10	139	34	8	76
	30	128	117	15	169	42	6	208
	令和元	122	96	9	142	57	4	81

11 学校給食

(1) 学校給食共同調理場の概要

ア 名称及び所在地

日立市北部学校給食共同調理場	日立市砂沢町758番地27
日立市南高野学校給食共同調理場	日立市南高野町1丁目23番11号

イ 敷地及び建物面積、その他

区分	敷地面積	建物面積	開設年月日
北部	15,791㎡	3,067㎡	平成31年4月1日
南高野	7,083㎡	3,638㎡	平成19年8月1日

ウ 主要設備、備品

(単位：台)

品名	数量		品名	数量	
	北部	南高野		北部	南高野
蒸気回転釜	20	20	食器洗浄機	3	2
蒸気自動回転釜	0	4	食缶洗浄機	1	1
ガス回転釜	1	0	エアーシャワー	4	4
調理台	47	23	生鮮食品用冷蔵庫	8	5
上流し	34	25	大型冷凍庫	2	2
作業台	31	27	保存食用冷凍庫	1	2
自動浸漬槽	0	1	揚物機	1	1
超音波洗浄機	1	3	球根皮剥機	3	3
パンラック	30	30	サイノ目切機	2	2
コンテナ	52	61	自動連続切裁機	3	2
食器消毒保管庫	10	2	フードミキサー	3	3
厨芥処理機	1	1	ボイラー	2	3
コンテナ洗浄機	1	1	殺菌庫	26	17
蒸気むし庫	0	2	コンベクションオープン	6	1

エ 給食対象人員

(令和2年5月1日現在) (単位：人)

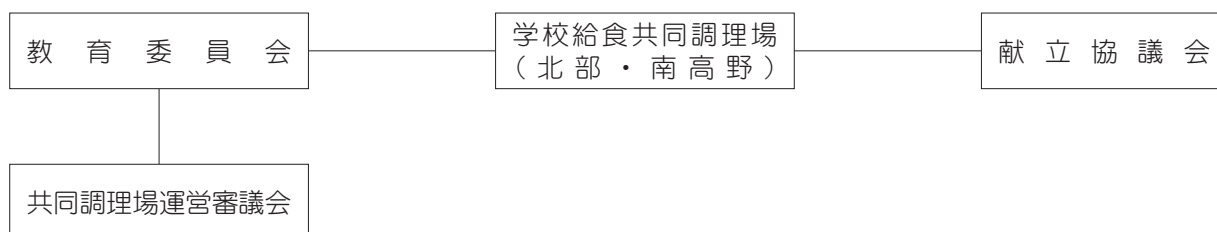
校別 区分	小学校			中学校			調理場 関係数	計
	学校数	児童数	教職員数	学校数	生徒数	教職員数		
北部	12	3,848	371	9	2,312	240	52	6,823
南高野	14	3,731	428	8	2,152	257	42	6,610
計	26	7,579	799	17	4,464	497	94	13,433

※県立日立第一高等学校附属中学校分(生徒240人、教職員等19人)は北部調理場に含む。

※特別支援学校小学部(児童54人、教職員等51人)は南高野調理場の小学校分、特別支援学校中・高等部(生徒93人、教職員等47人)は南高野調理場の中学校分に含む。

(2) 運営管理

(機構)



ア 共同調理場運営審議会

共同調理場の運営管理については、職員及び施設、設備、栄養、衛生、給食物資及び給食費等、極めて多面的であり、かつ複雑であることから、学校長、保護者代表、市議、学校医及び学校薬剤師等により組織する運営審議会を諮問機関として設け、共同調理場の運営に関する事項について諮問する。

(ア) 主な諮問事項

学校給食の計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食の運営上重要な事項

(イ) 運営審議会委員（P70参照）

イ 献立協議会

関係学校の給食主任と調理場職員により、献立案の検討、献立の反省、見本の試食及び検食等を行い、学校との綿密な連携のもとに運営する。

12 通学用スクールバス

行政改革を推進するため、恒常的な運行形態である「中里スクールバス及び日立特別支援学校スクールバスの運行管理業務」を平成11年4月から民間に委託し、経費削減及び事業の効率化を図っている。

(1) 中里小・中学校スクールバス

教育の機会均等の趣旨に基づき、学校統合に伴い遠距離通学となる児童生徒に対して、昭和42年9月から通学送迎用としてスクールバスを運行している。

さらに、昭和56年9月から、児童生徒の登下校に支障のない範囲で、次の場合に運行している。

- 小・中学校児童生徒の競技会等選手を派遣する場合の送迎
- その他教育長が認めた場合

なお、平成25年4月1日から小規模特認校制度による遠距離通学者の利用を可能としている。

ア 利用者数（中里小・中学校学区内児童生徒及び小規模特認校制度による児童生徒）

		年度別利用者数								各年4月現在（単位：人）	
区分	年度	平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	
小 学 校		1	10	10	11	12	14	11	13	15	
中 学 校		0	11	15	17	12	14	12	14	10	

イ 利用形態

中里小・中学校の児童生徒の通学送迎用として、スクールバス1台が日立駅⇄中里中学校間を運行している。なお、運行にあたり、運転員1人、添乗員1人が配置されている。

(2) 日立特別支援学校スクールバス

昭和43年の開校以来、小学部3年生までは保護者付添いによる通学、小学部4年生以上から自力通学を原則として地域社会との接触を図ることを教育方針としてきたが、近年、自力通学困難な重度障害児童生徒が増加傾向にあり、保護者の付添通学が増加したため、保護者負担の軽減を図るために昭和60年12月から通学送迎用として運行している。平成26年度に更新した市所有の3台に加え、平成29年度から事業者所有のバスを1台増便し、現在、4台のスクールバスを運行している。

ア 利用者数（日立市内から通学する児童生徒のうち、保護者付添通学を必要とする者）

		各年4月現在（単位：人）								
コース	年度	平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
北部方面コース		28	31	29	27	30	26	25	22	23
南部方面コース		28	31	30	28	31	28	26	20	18
中央コース(北部)	21	22	27	29	30	25	29	29	30	
中央コース(南部)						20	23	13	14	
計		77	84	86	84	91	99	103	84	85

イ 利用形態

日立特別支援学校児童生徒の通学送迎用として、スクールバス4台が市内の各方面を運行している。なお、運行にあたり、運転員4人、介助員8人（バス1台に2人乗車）が配置されている。

13 奨学金制度

日立市奨学金は、教育の機会均等を図り、有能な人材を育成するため、能力があるにもかかわらず経済的な理由によって修学が困難な高校生に対し学資を貸し付けることを目的に、昭和40年に設置された。その後、対象を大学生等にも広げ、市独自に入学準備金制度を設けたほか、貸付額の引上げを行ってきた。さらに平成29年度から返還を開始する大学奨学生が市内に居住した場合、返還額の50%を補助金として交付しており、令和元年度からは、補助対象者が、医療・介護・福祉関係の市内事業所に就職した場合、残りの50%も補助金として交付する（全額補助）など、より利用しやすい奨学金として制度を拡充し、今日に至っている。

奨学金は、昭和54年度から基金制度による運用となり、令和元年度末の基金額は5億7,366万4千円（目標額5億7,500万円）となっている。

(1) 貸付人員

高等学校奨学生（高等専門学校及び専修学校の高等課程を含む） 20人以内
 大学奨学生（短期大学及び専修学校の専門課程を含む） 120人以内

(2) 貸付額

(単位：円)

区 分		修学資金(月額)	入学準備金(一時金)			
高等学校・ 高等専門学校	国立及び公立	自宅通学のとき	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額			
		自宅外通学のとき				
	私立	自宅通学のとき				
		自宅外通学のとき				
大 学	国立及び公立 (短期大学を含む)	自宅通学のとき	250,000円以内で教育委員会が必要と認める額			
		自宅外通学のとき				
	私立	短 期 大 学		自宅通学のとき		
				自宅外通学のとき		
		高等課程		国立及び公立	自宅通学のとき	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額
					自宅外通学のとき	
私 立	私 立	自宅通学のとき				
		自宅外通学のとき				
専 修 学 校	専 門 課 程	国立及び公立	自宅通学のとき	200,000円以内で教育委員会が必要と認める額		
			自宅外通学のとき			
	私 立	私 立	自宅通学のとき			
			自宅外通学のとき			

(3) 年度別貸付状況

(単位：人・千円)

年度	高等学校		大 学		計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
26	1	186	61	37,050	62	37,236
27	1	156	54	32,714	55	32,870
28	2	342	60	36,530	62	36,872
29	3	498	62	36,392	65	36,890
30	3	468	66	39,074	69	39,542
令和元	1	156	68	40,776	69	40,932
累 計	790	229,931	727	1,505,882	1,517	1,735,813

※ 累計は、昭和40年(制度開始年)からの貸付者実人数及び貸付金額 (令和2年3月31日現在)

(4) 奨学金貸付基金運用状況

(単位：千円)

貸付金総額 (A)	償還金総額 (B)	未償還金総額 (C = A - B)	現金総額 (D)	基金額 (C + D)
1,735,813	1,438,981	296,832	276,832	573,664

(令和2年3月31日現在)

IV 生涯学習

1 生涯学習の推進

(1) 基本方針

少子・高齢化、社会の成熟化などに伴い、さまざまな場面で学習需要が増大しているため、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって学習することができ、その成果を身近な地域で活かすことのできる生涯学習環境の構築に努める。

ア 市民の生涯学習への意欲を高めるとともに生涯学習活動への参加を促進し、地域の中で学びの成果を活かすことができるような環境醸成に努める。

イ 市民が主体となり、知恵を集めた「ひたち生き生き百年塾」運動を推進するとともに、コミュニティ等との情報交換・連携強化を図る。

ウ 「自分を高める学習」「地域の力を高める学習」を推進していくため、図書館や視聴覚センターなどの生涯学習施設の有効活用を図り、多様な学習の場の拡充に努める。

エ 多様化する市民ニーズに対応した生涯学習を進めるため、茨城大学、茨城キリスト教大学、県北生涯学習センターなどの生涯学習機関・団体及び企業と連携協力し、学習機会の拡充に努める。

オ 学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの学習活動や体験活動への支援を進める。

カ 家庭教育力の向上を図るため、関係機関、学校などと連携し、主に小学生の保護者を対象に家庭教育の支援及び啓発活動を行う。

キ 社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体の自主的、自発的活動を支援する。

ク 物の豊かさから心の豊かさへと価値観が変化し、優れた芸術・文化に触れる機会が一層求められる中で、芸術文化活動の一層の振興を図る。また、後世に伝えるための文化財、埋蔵文化財等の保護と保存に努める。

(2) 生涯学習の重点施策

〔総合的な放課後児童対策の推進〕

共働き家庭などの「小1の壁」・「待機児童」の解消を図るとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後などを安全・安心に過ごし、様々な体験や学習などを行うことができるよう、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の2つの事業の特性を生かしつつ、連携して実施する。

ア 放課後児童健全育成事業

放課後や学校休業日に、保護者が就労などにより家庭にいない児童に適切な遊び及び生活の場を提供し、利用児童の健全育成及び子育て支援の充実を図る。

(ア) 公設児童クラブ

小学校の余暇教室等を活用し、実施する。

a 実施状況（令和2年5月1日現在）

学校名	単位数	登録者数	受入対象学年	開設時間	
				平日	土曜日・長期休業期間
助川	2	62	全学年	放課後～18時 (延長：「～19時」)	8時～18時 (延長：「7時30分～」、 「～19時」)
会瀬	1	42			
宮田	2	66			
滑川	1	50			

学校名	単位数	登録者数	受入対象学年	開設時間	
				平日	土曜日・長期休業期間
仲 町	1	20	全学年	放課後～18時 (延長：「～19時」)	8時～18時 (延長：「7時30分～」、 「～19時」)
中小路	1	9			
大久保	2	53			
河原子	1	36			
成 沢	1	42			
諏 訪	1	50			
水 木	1	50			
大みか	1	37			
大 沼	2	89			
金 沢	1	44			
塙 山	2	44			
油繩子	1	41			
田 尻	1	36			
日 高	1	48			
豊 浦	1	45			
久 慈	1	36			
坂 本	1	53			
東小沢	0	0			
中 里	0	0			
櫛 形	1	53			
山 部	1	11			
特別支援学校	1	7			
合 計	29	1,024			

b 実績（令和元年度）

- (a) 実施校 : 24校24単位
 (b) 登録者数 : 694人（令和2年3月1日現在）
 (c) 延べ利用者数 : 146,177人

(イ) 民間児童クラブ

市内で児童クラブを実施している民間事業者に対し、運営費の助成を実施する。

a 助成状況（令和2年5月1日現在）

クラブ数	単位数	登録者数
10か所	10単位	306人

b 実績（令和元年度）

- (a) 補助金交付クラブ数 : 10か所
 (b) 登録者数 : 350人（令和2年3月1日現在）
 (c) 延べ利用者数 : 62,994人

イ 放課後子ども教室事業

共働き家庭等を含めた全ての子どもを対象として、学校施設や公共施設等の安全・安心な活動場所を活用し、地域住民や大学生等の様々な人材の協力を得て、学習支援や多様な体験プログラム、交流活動を実施する。

教室	実施場所	開設曜日	参加人数 (実)	委託先
助川	小学校図工室	水曜日	23人	NPO法人ひたち親子の広場
会瀬	小学校地域交流室	水曜日	16人	会瀬学区コミュニティ推進会
大久保	多賀図書館	水曜日	33人	株式会社アンフィニ
塙山	塙山交流センター	水曜日	10人	塙山学区住みよいまちを作る会
田尻	小学校専用教室	木曜日	30人	NPO法人ひたち親子の広場
坂本	小学校会議室	木曜日	32人	株式会社アンフィニ
滑川	滑川交流センター	金曜日	14人	NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ
水木	小学校地域交流室	金曜日	18人	株式会社アンフィニ

(令和2年7月1日現在)

〔ラジオ体操の普及〕

日立市出身の遠山喜一郎氏が考案したラジオ体操を郷土の宝として、市民への普及に取り組むことで、市民の生活習慣の改善及び健康増進を図るとともに、世代間交流の機会を増やし、地域社会の活性化を目指す。

ア 指導員の養成（認定料の補助） 9人

イ 指導員の派遣

派遣回数	派遣人数	参加人数
10回	20人	1,163人

令和元年度実績

ウ 「夏休みチャレンジラジオ体操」の実施 参加人数 2,172人/47団体

エ 「日立市一斉ラジオ体操の日（7/21・夏休み最初の日曜日）」の実施 参加人数 約1,903人

オ 「介護予防と映画の集い」においてラジオ体操に関する講演会を実施 参加者数 約 650人

〔市民・企業・行政の協働による多種多様なニーズに応じた生涯学習の拡充〕

子どもたちの勤労観や職業観を育むため、地域、産業界、行政等が一体となって進めている「日立市職業探検少年団」の運営を支援する。

ア 本部会議

(ア) 開催日 令和元年5月14日

(イ) 会場 日立商工会議所 4階 第4会議室

イ 少年団合同見学会の実施

(ア) 実施日 令和元年8月23日

(イ) 場所 株式会社エフピコ関東リサイクル工場、キッコーマン株式会社もの知りしょうゆ館

ウ 職業探検少年団合同修了証授与式

(ア) 実施日 令和2年2月8日

(イ) 場所 十王総合健康福祉センター Jホール

エ 各団の活動日数及び人数構成（令和元年度）

少年団名	活動日数 (日)	団員数		
		男子(人)	女子(人)	計(人)
ひたち農業探検少年団	10	9	8	17
ひたち林業探検少年団	10	7	5	12
ひたち水産業探検少年団	8	15	2	17
ひたちものづくり探検少年団	9	4	8	12
ひたちパソコン探検少年団	14	6	2	8
ひたち福祉探検少年団	6	10	13	23
ひたち科学探検少年団	10	14	4	18
ひたち建築デザイン探検少年団	10	4	10	14
ひたち観光探検少年団	8	5	10	15
ひたちメディア探検少年団	9	2	3	5
ひたちあきんど探検少年団	10	4	2	6
計	104	80	67	147

〔子どもたちの豊かな体験活動の支援〕

子どもたちの郷土愛を育み、豊かな体験を得る機会を創出するため、小中学生に「ひたち大好きパスポート」を配布し、土曜日及び長期休業期間中の日曜日の公共施設の利用無料を行うとともに、地域での活動参加を促し、一定ポイントを達成した者に、「ひたち大好き博士」認定証と記念缶バッジを交付する。

利用状況

(単位：人)

令和元年度			平成30年度		
小学生	中学生	計	小学生	中学生	計
2,143	2,034	4,177	3,699	3,713	7,412

ひたち大好き博士認定状況

(単位：人)

区分	初級	中級	上級	名誉	計
人数	142	9	0	0	151

令和元年度実績

〔市民主体の生涯学習の支援〕

ア 「まち全体を学び舎に」を目指し、市民が自主的に参加して、ひとづくり・まちづくりを実践している「ひたち生き生き百年塾」運動を総合的に推進する。

事業名	開催数(回)	開催日数(日)	参加人数(人)
ひたち市民カレッジ	1(1)	20(20)	27(17)
市民教授生き生き講座	20(22)	35(55)	348(417)
百年塾フェスタ	1(1)	1(1)	8,000(8,000)

令和元年度実績 ()内は平成30年度

イ 交流センター等を拠点としてコミュニティ及び子ども会等が実施する学習活動、地域づくり活動を支援する。

(ア) 市民教授登録者数（令和2年3月末現在） 221人

(イ) コミュニティ連携講座開催数（令和元年度） 7回 参加者数178人

(ウ) 子どもの活動支援事業実施数（令和元年度） 10回 参加者数239人

〔新成人記念事業「2020年日立市成人祝」〕

満20歳を迎える市民（新成人）を祝うため、日立市及び関係機関・団体の出席による記念式典及び新成人としての責任や自覚を促す内容の様々なイベントや啓発活動を行う。

ア 実施日 令和2年1月12日

イ 会場 池の川さくらアリーナ

ウ 内容 式典、記念写真撮影等

エ 参加人数 1,603人（1,491人）

オ 参加率 76.0%（73.6%） （ ）は平成30年度

〔家庭教育の推進〕

家庭教育力の向上のため、主に小学生の保護者を対象に、茨城県が作成及び配布する「家庭教育ブック（幼児向け、低学年向け）」等の内容に触れた家庭教育啓発に関する講話を実施する。

〔生涯学習施設・機能の充実〕

生涯学習の拠点ともいふべき図書館・郷土博物館・視聴覚センター等の関係施設は、地域住民に親しまれ、その期待に応えられる体制づくりが必要であるため、施設の整備とともに施設ボランティア等の登用・活用に努める。

〔社会教育関係団体等への支援〕

家庭及び地域の教育力の向上を図るため、日立市立小・中学校PTA連合会、日立市子ども会育成連合会等への支援を行う。

〔生涯スポーツの推進〕

ア スポーツ活動の推進

(ア) スポーツ活動の日常化を推進するため、公益財団法人日立市体育協会をはじめ、加盟各関係団体等と連携し、従来の競技スポーツと併せ、世代交流を図るファミリースポーツを実施する。

(イ) 市民の自主的・自発的なスポーツ活動を積極的に進めるため、公益財団法人日立市体育協会等と連携し、各種スポーツ教室及び大会・競技会を開催する。

(ウ) スポーツ人口の底辺拡大や競技力向上を図るため、池の川さくらアリーナ等を活用したプロスポーツや大規模スポーツ大会の誘致による「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」を推進する。

(エ) 子どもたちがスポーツに親しむ習慣を身に付ける上で重要な役割を果たし、「生涯スポーツ」の基礎づくりを担っているスポーツ少年団に対し、活動場所の確保や団員増加を図るための支援を推進する。

イ 体育関係団体の自主的活動への支援促進

(ア) 公益財団法人日立市体育協会の設立目的であるスポーツの振興を図るため、スポーツ・レクリエーション大会の開催など自主事業の展開を支援する。

(イ) 日常生活の中にスポーツを取り入れ、個々のライフステージを豊かにするため、スポーツに関

- する指導助言を行うなど地域のリーダーとなるスポーツ推進委員協議会の自主的活動を支援する。
- (ウ) 身近な場所で、多様なスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境をつくるため、総合型地域スポーツクラブの育成普及を推進する。
- ウ スポーツ施設の整備・充実
- 市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、市民運動公園施設、スポーツ広場、市民広場及び学校体育施設の計画的な整備を推進する。
- エ スポーツ指導者の養成・確保
- 公益財団法人日立市体育協会と連携し、スポーツ指導者を養成する各種講習会・研修会を開催する。
- オ 学校体育施設開放事業の推進
- 地域住民に対し、身近にスポーツ・レクリエーション活動が出来る場を提供するため、学校の体育施設（体育館、武道場、運動場）を学校教育に支障のない範囲で開放する。

〔文化行政の推進と文化財の保護〕

- ア 芸術文化活動の推進
- (ア) 市民が主体となる芸術・文化活動に対し、活動・発表の場や各種情報を提供するなどの支援を行う。
- (イ) 市民ギャラリーを広く市民に開放するとともに、展示会等に利用してもらうように努める。
- イ 文化財の保護と活用
- (ア) 文化財は、国民共有の貴重な財産であり、良好な状態で保存するとともに、その活用を図る。
- (イ) 郷土民俗芸能（風流物、ささら）の伝承活動・公開を支援し、後継者の養成を図る。
- (ウ) 埋蔵文化財の保護・保存を図るため、埋蔵文化財分布地図を効果的に活用するとともに、埋蔵文化財の公開展示に努める。
- (エ) 文化財愛護協会や、関係機関団体と連携し、文化財の保護・啓発活動に努める。
- (オ) 文化財に対する理解や認識を深めるため、説明板等の整備を行う。

2 学校施設開放

(1) 開放施設一覧

No.	学 校	所 在 地	体育館	運動場	プール	夜間照明	柔剣道場
1	助 川小学校	助川町2-15-1	○	○	○	-	-
2	会 瀬 "	会瀬町2-17-10	○	○	○	-	-
3	宮 田 "	本宮町2-9-1	○	○	○	-	-
4	滑 川 "	滑川本町1-20-7	○	○	○	-	-
5	仲 町 "	宮田町5-5-1	○	○	○	-	-
6	中小路 "	平和町2-4-1	○	○	○	-	-
7	大久保 "	末広町1-1-1	○	○	○	-	-
8	河原子 "	河原子町4-3-4	○	○	○	-	-
9	成 沢 "	中成沢町3-16-8	○	○	○	-	-
10	諏 訪 "	諏訪町3-10-1	○	○	○	-	-
11	水 木 "	水木町1-6-1	○	○	○	-	-
12	大みか "	大みか町3-19-15	○	○	○	-	-
13	大 沼 "	東大沼町2-1-8	○	○	○	-	-
14	金 沢 "	金沢町5-2-1	○	○	○	-	-
15	塙 山 "	金沢町2-14-1	○	○	○	-	-
16	油縄子 "	鮎川町3-11-1	○	○	○	-	-
17	田 尻 "	田尻町4-39-1	○	○	○	-	-
18	日 高 "	日高町2-12-1	○	○	○	-	-
19	豊 浦 "	折笠町741	○	○	○	-	-
20	久 慈 "	久慈町1-23-1	○	○	-	-	-
21	坂 本 "	南高野町3-21-1	○	○	○	-	-
22	東小沢 "	下土木内町617	○	○	○	-	-
23	中 里 "	東河内町1909	○	○	○	-	-
24	櫛 形 "	十王町伊師本郷508	○	○	○	-	-
25	山 部 "	十王町山部841	○	○	-	-	-
1	助 川中学校	鹿島町3-5-1	○	○	○	-	○
2	平 沢 "	高鈴町1-15-1	○	○	-	-	-
3	駒 王 "	神峰町3-2-32	○	○	○	-	○
4	滑 川 "	東滑川町3-17-1	○	○	○	-	○
5	多 賀 "	鮎川町3-11-2	○	○	○	○	-
6	大久保 "	末広町5-12-34	○	○	-	-	-
7	河原子 "	東多賀町4-10-10	○	○	-	-	-
8	泉 丘 "	水木町2-9-1	○	○	○	○	-
9	台 原 "	台原町1-9-1	○	○	○	-	○
10	日 高 "	小木津町3-26-1	○	○	○	-	○
11	豊 浦 "	川尻町3-11-1	○	○	○	○	-
12	久 慈 "	久慈町6-20-2	○	○	-	○	○
13	坂 本 "	石名坂町1-30-1	○	○	○	-	-
14	中 里 "	東河内町1953	○	○	○	-	-
15	十 王 "	十王町友部600	○	○	-	-	○
合 計			40	40	33	4	7

※ 改修工事等により使用できない場合があります。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためプールの開放は行わない。

(2) 令和元年度学校体育施設開放利用状況

学校名	件名	運 動 場				体 育 館				柔 剣 道 場			
		件数	人 数			件数	人 数			件数	人 数		
			男	女	計		男	女	計		男	女	計
小 学 校	助川	153	3,854	418	4,272	89	846	363	1,209	—	—	—	—
	会瀬	33	1,118	40	1,158	256	2,278	2,187	4,465	—	—	—	—
	宮田	43	1,271	314	1,585	259	2,519	3,286	5,805	—	—	—	—
	滑川	97	1,910	315	2,225	239	2,701	2,844	5,545	—	—	—	—
	仲町	39	626	104	730	149	1,390	1,553	2,943	—	—	—	—
	中小路	69	905	405	1,310	184	1,755	1,339	3,094	—	—	—	—
	大久保	166	4,260	222	4,482	271	2,480	2,810	5,290	—	—	—	—
	河原子	57	2,435	384	2,819	195	1,155	1,485	2,640	—	—	—	—
	成沢	69	1,478	512	1,990	255	1,642	3,734	5,376	—	—	—	—
	諏訪	111	3,462	751	4,213	252	3,419	2,571	5,990	—	—	—	—
	水木	64	2,039	360	2,399	324	3,779	2,103	5,882	—	—	—	—
	大みか	97	1,975	251	2,226	144	1,136	1,646	2,782	—	—	—	—
	大沼	74	1,911	1,433	3,344	315	3,937	3,770	7,707	—	—	—	—
	金沢	93	1,940	281	2,221	206	498	2,202	2,700	—	—	—	—
	埴山	151	2,922	864	3,786	218	1,775	2,936	4,711	—	—	—	—
	油縄子	52	1,030	214	1,244	70	713	592	1,305	—	—	—	—
	田尻	125	4,056	284	4,340	140	1,424	1,001	2,425	—	—	—	—
	日高	30	890	425	1,315	227	3,564	1,278	4,842	—	—	—	—
	豊浦	80	3,920	186	4,106	209	1,851	1,247	3,098	—	—	—	—
	久慈	0	0	0	0	110	292	815	1,107	—	—	—	—
坂本	66	1,454	66	1,520	275	2,881	2,371	5,252	—	—	—	—	
東小沢	8	109	85	194	119	629	907	1,536	—	—	—	—	
中里	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
櫛形	90	3,539	337	3,876	443	4,172	5,600	9,772	—	—	—	—	
山部	1	40	10	50	59	383	450	833	—	—	—	—	
小計	1,768	47,144	8,261	55,405	5,008	47,219	49,090	96,309	0	0	0	0	
中 学 校	助川	0	0	0	0	303	2,597	1,340	3,937	131	988	52	1,040
	平沢	0	0	0	0	198	2,756	1,220	3,976	—	—	—	—
	駒王	0	0	0	0	264	2,262	1,623	3,885	212	1,705	344	2,049
	滑川	0	0	0	0	227	1,836	1,373	3,209	31	85	0	85
	多賀	37	286	0	286	245	938	2,825	3,763	—	—	—	—
	大久保	17	102	0	102	215	1,184	1,103	2,287	—	—	—	—
	河原子	0	0	0	0	199	1,401	711	2,112	—	—	—	—
	泉丘	31	657	30	687	243	674	2,125	2,799	—	—	—	—
	台原	33	742	0	742	156	1,901	929	2,830	170	1,672	146	1,818
	日高	2	8	4	12	367	2,960	1,846	4,806	52	808	781	1,589
	豊浦	0	0	0	0	151	1,043	701	1,744	—	—	—	—
	久慈	95	840	714	1,554	337	2,096	1,126	3,222	202	1,369	561	1,930
	坂本	12	78	0	78	37	146	220	366	—	—	—	—
	中里	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
十王	9	72	0	72	136	1,175	660	1,835	118	849	658	1,507	
小計	236	2,785	748	3,533	3,078	22,969	17,802	40,771	916	7,476	2,542	10,018	
合計	2,004	49,929	9,009	58,938	8,086	70,188	66,892	137,080	916	7,476	2,542	10,018	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月28日から全ての施設を使用中止とした。

学校名	件名	プ			利用団体内訳						合 計			利用日数	
		件数	人 数			企業	少年団	子供会	ママさん	地域	件数	人 数			
			男	女	計							男	女		計
小 学 校	助川	12	199	93	292	0	226	0	0	28	254	4,899	874	5,773	195
	会瀬	7	139	105	244	40	210	10	15	21	296	3,535	2,332	5,867	229
	宮田	0	0	0	0	0	215	0	0	87	302	3,790	3,600	7,390	223
	滑川	13	251	151	402	0	257	0	0	92	349	4,862	3,310	8,172	247
	仲町	8	120	85	205	0	105	0	0	91	196	2,136	1,742	3,878	155
	中小路	0	0	0	0	55	52	0	0	146	253	2,660	1,744	4,404	196
	大久保	0	0	0	0	18	374	16	0	29	437	6,740	3,032	9,772	289
	河原子	0	0	0	0	0	199	2	43	8	252	3,590	1,869	5,459	173
	成沢	20	442	511	953	0	292	36	0	16	344	3,562	4,757	8,319	238
	諏訪	0	0	0	0	0	192	53	0	118	363	6,881	3,322	10,203	243
	水木	1	150	150	300	0	293	2	0	94	389	5,968	2,613	8,581	278
	大みか	0	0	0	0	1	127	6	0	107	241	3,111	1,897	5,008	178
	大沼	0	0	0	0	0	304	17	32	36	389	5,848	5,203	11,051	264
	金沢	0	0	0	0	16	183	0	46	54	299	2,438	2,483	4,921	204
	塙山	0	0	0	0	38	152	5	50	124	369	4,697	3,800	8,497	227
	油縄子	10	143	130	273	0	52	0	0	80	132	1,886	936	2,822	128
	田尻	0	0	0	0	0	114	0	0	151	265	5,480	1,285	6,765	159
	日高	0	0	0	0	0	257	0	0	0	257	4,454	1,703	6,157	238
	豊浦	0	0	0	0	0	225	0	0	64	289	5,771	1,433	7,204	211
	久慈	-	-	-	-	0	77	0	9	24	110	292	815	1,107	102
坂本	9	68	97	165	0	306	0	0	44	350	4,403	2,534	6,937	249	
東小沢	2	14	9	23	0	55	1	0	73	129	752	1,001	1,753	118	
中里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
櫛形	0	0	0	0	0	449	0	63	21	533	7,711	5,937	13,648	286	
山部	-	-	-	-	0	20	0	0	40	60	423	460	883	48	
小計	82	1,526	1,331	2,857	168	4,736	148	258	1,548	6,858	95,889	58,682	154,571	4,878	
中 学 校	助川	0	0	0	0	64	17	0	8	345	434	3,585	1,392	4,977	244
	平沢	-	-	-	-	5	0	0	0	193	198	2,756	1,220	3,976	177
	駒王	0	0	0	0	5	161	0	0	310	476	3,967	1,967	5,934	280
	滑川	0	0	0	0	0	0	0	0	258	258	1,921	1,373	3,294	229
	多賀	0	0	0	0	33	31	0	130	88	282	1,224	2,825	4,049	249
	大久保	-	-	-	-	0	0	0	63	169	232	1,286	1,103	2,389	223
	河原子	-	-	-	-	0	0	0	0	199	199	1,401	711	2,112	196
	泉丘	0	0	0	0	0	18	0	52	204	274	1,331	2,155	3,486	200
	台原	0	0	0	0	0	170	0	0	189	359	4,315	1,075	5,390	257
	日高	0	0	0	0	0	43	0	0	378	421	3,776	2,631	6,407	271
	豊浦	0	0	0	0	96	55	0	0	0	151	1,043	701	1,744	110
	久慈	-	-	-	-	94	246	0	0	294	634	1,174	2,401	3,575	284
	坂本	0	0	0	0	0	0	0	0	49	49	224	220	444	47
	中里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十王	-	-	-	-	0	238	0	0	25	263	2,096	1,318	3,414	223	
小計	0	0	0	0	297	979	0	253	2,701	4,230	30,099	21,092	51,191	2,990	
合計	82	1,526	1,331	2,857	465	5,715	148	511	4,249	11,088	125,988	79,774	205,762	7,868	

3 日立の文化財一覧

指定別	種 別	名 称	所 在 地
国指定	重要有形民俗文化財	日立風流物 (5段屋形開閉式山車 1基)	宮田町5-1-1 神峰神社
	重要無形民俗文化財	日立風流物	宮田町5-1-1 神峰神社
	史 跡	長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡	十王町伊師字愛宕脇3586番外
	天 然 記 念 物	いぶき山イブキ樹叢	十王町伊師2204
国選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	日立風流物	宮田町5-1-1 神峰神社
県指定	建 造 物	小野家住宅	諏訪町2-18-11
	絵 画	絹本著色阿弥陀如来来迎図(1幅)	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内
	彫 刻	木造釈迦如来三尊像(3体)	宮田町5-6-15
		木造大日如来坐像	入四間町752 斎神社
		木造観音菩薩坐像	東河内町899
		木造万年大夫夫婦坐像(4体) (胎内像を含む)	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内
		木造薬師如来坐像	久慈町3-18-5
		木造聖徳太子坐像	金沢町4-14-24
	工 芸 品	古鏡	弁天町1-21-12
		蒔絵鏡箱(1合)	弁天町1-21-12
	書 跡	大般若波羅密多經(17巻)	神峰町4-11-12
	歴 史 資 料	訂正常陸国風土記版木付箱板2枚 (19枚)	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館内
		5馬力誘導電動機(1台) 附設計図(1枚)	幸町3-1-1 小平記念館内
	考 古 資 料	十王台遺跡出土十王台式土器	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内 東京都台東区上野公園13-9 東京 国立博物館内
	有形民俗文化財	日立風流物人形頭(122個)	神峰町4-11-12
	無形民俗文化財	日立のささら(7地区)	宮田
			助川
			会瀬
			大久保
			諏訪
			水木
	成沢		
史 跡	佛ヶ浜(度志観音を含む)	田尻町4-39	
	助川海防城跡	助川町5-10-4	
	泉が森	水木町2-22-1	
	旧久原本部	宮田町3585 日鉱記念館内	
	南高野貝塚	南高野町1-19	
	天 然 記 念 物	海鵜渡来地	川尻町2-7
御岩山の三本杉		入四間町752	
駒つなぎのイチヨウ		大久保町2-2-11	
市指定	建 造 物	泉川道標	大みか町6-15
		入四間道標	東河内町1939-1
		旧共楽館(日立武道館)	白銀町2-21-15

指定別	種別	名称	所在地	
市指定	建造物	下孫停車場紀年碑	多賀町1-371の一部	
	絵画	絹本著色涅槃図	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	入四間町752 斎神社内	
		木造阿弥陀如来坐像	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		木造釈迦如来 多宝如来並座像	西成沢町2-11-2	
		日光・月光菩薩立像	久慈町3-18-5	
	工芸品	火縄三眼鏡	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		旧助川西上町舞屋台(山車1台)	鹿島町2-4-4 鹿嶋神社	
		東叡山石燈籠(3基)	諏訪町1030	
		太刀(銘・大江勝永)一口	千石町1-14-25	
		短刀(銘・驚鯨丸)一口	千石町1-14-25	
	書跡	藤田東湖揮毫諏訪神社大幟(2流)	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
	歴史資料	藤田東湖揮毫南高野鹿島神社大幟(4流)	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		吉田神社棟札(27枚)	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		鱸神社棟札	十王町友部東4-1-2	
		友部村絵図	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
	考古資料	諏訪遺跡出土縄文土器(35点)	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		愛宕原火葬墓出土骨蔵器	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		十王台南遺跡第1号住居跡出土遺物	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
	有形民俗文化財	明王山不動尊の絵馬(7面)	神峰町1-7	
		日立郷土芸能保存会北町支部所有の日立風流物人形頭21個	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		日立郷土芸能保存会西町支部所有の日立風流物人形頭17個	宮田町5-2-22 日立市郷土博物館内	
		黒田入口 道標	十王町高原	
		大原道標	十王町高原	
		無形民俗文化財	鵜捕りの技術	十王町伊師(碁石浦)
		鹿嶋神社流鎗馬	大久保町2-2-11 鹿嶋神社	
	史跡	助川海防城跡(県指定区域を除く)	助川町5-10-4	
		大窪城跡及び暇修館跡	大久保町4-15-1	
		相馬碑	多賀町5-9	
		十王前横穴	川尻町3-52	
		甕の原古墳群3号墳	大みか町3-8	
		甕の原古墳群4号墳	大みか町3-8	
		山野邊家墓所	高鈴町1-113	
		水漏舎小学校跡	中成沢町2-191の一部	
		名勝	玉簾の滝	東河内町899
		小貝浜	川尻町2-4	
	天然記念物	大甕神社境内樹叢	大みか町6-16-1	
		澳津説神社のシイ	小木津町3-18-10	
		本山の一本杉	宮田町3585-15	
		諏訪のヤマザクラ	諏訪町3-10-18	
		愛宕神社境内「椎」	十王町伊師2951-1	
	登録有形文化財	建造物	旧共楽館(日立武道館)	白銀町2-21-15
	「ユネスコ無形文化遺産に関する条約」における「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」への記載	無形文化遺産	日立風流物	宮田町5-1-1 神峰神社

V 生涯学習関係施設

1 図書館

(1) 施設概要

名 称	所在地（電話）	敷地面積	建物延面積	主 な 設 備 等	職 員 数
記念図書館	幸町1-21-1 (24)7714 IP 050(5528)4946	m ² 7,582	m ² 3,384	貸出室兼閲覧室 1 参考図書閲覧室 1 書 庫 1 おはなしのへや 1	人 21 (うち再任用 1、 会計年度任用職員 (図書館員) 7、 (図書搬送員) 1)
多賀図書館	末広町1-1-4 (33)2655 IP 050(8012)6952	1,716	3,455	貸出室兼閲覧室 2 (うち子ども図書室 1) 参考図書閲覧室 1 調べ学習室 1 書 庫 1 おはなし広場 1	18 (うち再任用 1、 会計年度任用職員 (図書館員) 12)
十王図書館	十王町友部202-1 (20)2345 IP 050(5528)4921	3,356	1,127	貸出室兼閲覧室 1 多目的スペース 1 書 庫 1 おはなしのへや 1	13 (うち会計年度任用職員 (図書館員) 9)
南部図書館	久慈町3-24-1 (29)1125 IP 050(5528)4950	4,649	1,398	貸出室兼閲覧室 1 (うち子ども図書室 1) 書庫 1 おはなしのへや 1 まなびの部屋 1 創作室 1 ギャラリー 1	15 (うち臨時的任用 1、再任用 1、 会計年度任用職員 (図書館員) 10)

(2) 基本方針

多様化する市民のニーズに応えられるよう必要な資料・情報を収集整備し、生涯学習・生活・文化の向上を支援する地域の文化拠点として、広く市民にサービスを提供する。

ア 蔵書、郷土資料、その他の資料の充実

- 生活関連図書の整備等、幅広い分野の資料の整備
- 児童（乳幼児、小・中学生向け）資料の整備
- 国際理解に関する資料、視聴覚資料等の収集整備
- 市民推薦図書の募集（「あったらいいなこんな本」）
- 調査・研究に対応する参考図書、日立市や茨城県に関わる企業・郷土人関連・行政資料の収集整備
- 茨城大学との連携協力による専門的図書資料の提供

イ 奉仕活動の充実

(ア) 館内サービスの充実

- レファレンスサービス、リクエストサービス、フロアーワークの充実
- 本の企画展示
- 貸出利用対象者の拡大（誰でも本が借りられる図書館の推進）

(イ) 館外サービスの充実

- 移動図書館を活用した子ども読書活動推進及び生涯学習等支援
- 交流センター等（日高・水木・大沼交流センター、南部支所）図書室及び施設文庫等の充実

(ウ) 子どもの読書環境の整備と学習活動への支援

- 子ども読書活動推進センターの機能充実
- ブックスタート、ブックトーク及びビブリオバトルの推進

- 学校支援（授業用図書館資料・巡回図書搬送等）の充実
- 子育て支援の推進（乳幼児・児童を対象としたおはなし会の開催・子育て支援コーナーの整備等）
- (エ) 読書グループの育成等、市民の自主活動の推進
 - 読書活動支援と団体配本などサポート体制の充実
 - 地域ボランティア活動の支援、図書館ボランティアの養成
- (オ) 広報活動の充実
 - 図書館ホームページの充実、図書館だよりの発行
 - JWAY（日立市行政チャンネル）、SNS、FMひたちの活用等

(3) 令和2年度図書購入計画 上段：金額（単位：千円） 下段（ ）内：冊数（単位：冊）

種別	記念図書館			多賀図書館	十王図書館	南部図書館	合計
	館内奉仕用	館外奉仕用					
		移動図書館	交流センター等				
参考図書	1,440 (120)	—	—	240 (20)	240 (20)	240 (20)	2,160 (180)
一般図書	6,252 (3,126)	1,257 (660)	1,598 (940)	3,900 (1,950)	3,496 (1,748)	4,030 (2,015)	20,533 (10,439)
児童図書	2,739 (1,568)	1,868 (1,078)	1,424 (890)	2,237 (1,303)	2,296 (1,342)	2,504 (1,430)	13,068 (7,611)
文庫	273 (341)	70 (100)	—	208 (260)	140 (175)	56 (70)	747 (946)
学校支援	677 (410)	—	2,198 (1,110)	210 (120)	—	—	3,085 (1,640)
合計	11,381 (5,565)	3,195 (1,838)	5,220 (2,940)	6,795 (3,653)	6,172 (3,285)	6,830 (3,535)	39,593 (20,816)

(4) 蔵書冊数 (令和2年3月31日現在)

種別	館内	記念図書館					多賀図書館	十王図書館	南部図書館	合計
		館外								
		移動	日高	水木	大沼	南部支所				
一般図書	229,658	49,399	3,647	4,492	3,159	2,125	74,579	66,678	65,159	498,896
児童図書	68,670	64,238	4,033	5,935	5,082	2,997	58,829	35,991	35,274	281,049
計	298,328	113,637	7,680	10,427	8,241	5,122	133,408	102,669	100,433	779,945

(5) 利用状況

ア 図書館利用冊数

館別	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
記念図書館		429,556	396,385	384,348	359,857	342,171	322,977	289,586
多賀図書館		350,940	311,491	303,021	299,638	300,571	295,366	267,658
十王図書館		365,647	345,730	346,717	320,789	306,313	279,472	254,173
南部図書館		329,053	335,164	338,951	315,095	304,415	301,269	281,250
移動図書館		23,938	21,379	20,330	29,335	32,637	31,042	31,402
WEB館		66,963	71,187	75,693	73,573	74,668	74,902	74,492
交流センター等		21,813	21,268	19,802	16,874	14,902	14,858	13,813
総数		1,587,910	1,502,604	1,488,862	1,415,161	1,375,677	1,319,886	1,212,374

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2.3.5～3.31まで臨時休館

イ 令和元年度 図書貸出者数

	一般	児童	計
記念図書館	53,313	7,581	60,894
多賀図書館	42,022	10,936	52,958
十王図書館	37,974	8,465	46,439
南部図書館	42,719	7,847	50,566
移動図書館	1,725	5,164	6,889
交流センター等	3,157	1,086	4,243
合計	180,910	41,079	221,989

ウ 登録者数

(令和2年3月31日現在)

	記念図	多賀図	十王図	南部図	移動図	日高	水木	大沼	南部支所	合計
一般	32,457	16,643	16,653	7,774	2,691	26	17	24	23	76,308
児童	3,989	4,176	3,305	2,347	3,067	10	10	36	6	16,946
計	36,446	20,819	19,958	10,121	5,758	36	27	60	29	93,254

※ 交流センター・南部支所は令和元年度中の新規登録者の数

(6) 活動のあらまし

ア 館内サービス

- 図書、新聞、雑誌、郷土資料、行政資料、電子資料等の収集・整理・提供
- 調査研究のための参考相談業務（レファレンスサービス）
- リクエストサービス
- 視覚障害者へのCD・カセットテープの郵送貸出
- 保育園・幼稚園・小学校へのおはなし会の実施及び中学校の職場体験学習への協力
- 図書目録・推薦図書目録などのブックリスト作成
- 団体への貸出（貸出延べ団体数606団体、貸出冊数6,557冊）

イ 館外サービス

- 移動図書館の巡回によるサービス（54ステーション）
- リクエストサービス
- 授業関連図書搬送
- 小・中学校巡回図書搬送
- 交流センター、各種文庫、団体への配本・貸出
- 交流センター等図書室（4館）、施設文庫（15施設）、団体配本（登録団体11団体：貸出延べ団体数27団体、貸出冊数3,002冊）

ウ ブックスタートパック配布（令和2年度実施予定106回）

- 図書館（83回）、保健センターほか（23回）

エ 各種行事の開催

(ア) 子ども向け

「おはなし会」「本を読んで作品（もの）づくり・絵をかこう展」「としょかんまつり」「戦争と平和を考えるこどもの本展」「国語の教科書に出てくる本展」「図書館がすすめるこどもの本展」「夏休み図書館利用ポイントカード作戦」など

(イ) 一般向け

「ビブリオバトル」「親のための読み聞かせ講習会」「読み聞かせボランティア初級者研修会」「折り紙教室」や「多彩な本の企画展示」など

2 郷土博物館

(1) 施設概要

名 称	所在地（電話）	敷地面積	建物延面積	主な設備等	職 員 数
郷土博物館	宮田町5-2-22 (23)3231 IP 050(5528)4923	m ² 2,601	m ² 2,804	展示室 3 集会室 1 収蔵庫 2 研究室 3	10 人 (うち会計年度 任用職員 5)

(2) 基本方針

郷土博物館は、郷土にかかわる考古、歴史、民俗、産業、美術、自然科学等の資料の調査・収集・保存・研究・展示活動を基本に、市民の教養と憩いの場、生涯学習の場としてふさわしい事業を実施するほか、文化財の保護を推進する。

(3) 運営目標

- ア 郷土資料にとどまらず、広く館外に資料を求めて、特別展示、企画展示等を企画・実施する。
- イ 考古、歴史、民俗、産業、美術、自然科学等の各分野における資料の調査・収集・整理・保存・研究を推進する。
- ウ 講演会、講習会等の行事開催や、自主グループ、ふるさと文化少年団活動の育成・支援を通して、教育普及活動に努める。
- エ 文化財の保護を推進する。

(4) 利用状況

(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
有 料	—	—	—
無 料	19,342	16,627	14,766
総 数	19,342	16,627	14,766

(5) 特別展示等開催状況

展示名	開催期日	観覧者数	展示内容
収蔵美術品展「新収蔵品を中心に」	1. 6. 22～ 1. 8. 12	955	昨年度新たに収蔵した作品を中心に、日本画、洋画、現代美術作品を展示。
収蔵美術品展 「日立ゆかりの日本画家」	1. 9. 12～ 1. 11. 4	794	江戸時代～近現代に活躍した日立ゆかりの日本画家たちの作品を展示。
特別展示「長者山遺跡がつなぐ 古代の道と常陸国風土記の世界」	1. 12. 21～ 2. 2. 24	1,686	国史跡に指定された長者山遺跡の調査成果とともに『常陸国風土記』にゆかりのある県内各地の貴重な資料を展示。
企画展 「日立にいた太古の生き物」	2. 2. 22～ 2. 5. 7 (※)	289	日立市内で新たに発見された5億年前および500万年前の化石を展示。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館（2. 3. 5～3. 31、2. 4. 15～5. 17）のため、3月中は開催休止、2. 4. 14で開催終了。

(6) ギャラリー展

展示名	開催期日	観覧者数	展示内容
ギャラリー写真展 「戦災と生活」	1.5.28～ 1.7.28	1,247	戦後74年が経過し風化しつつある戦争を、日立に空襲があった6月から7月に合わせ当時の写真で振り返る。

(7) 各種行事開催状況

講習会・講座		ふるさと文化少年団		自主グループ	
回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
35	1,815	12	569	12	72

※ 講習会・講座の内容

ふるさと教室、古文書学習会初級講座、八つ爪作り講習会、特別展示開催記念講演会など

(8) 資料貸出し等状況

(単位：件)

資 料	考 古	歴 史	民 俗	美 術	そ の 他	歴史資料の 相談・閲覧
件 数	2	10	0	2	0	227

3 視聴覚センター

(1) 施設概要

名 称	所在地(電話)	建物延面積	主な設備等	職員数
視聴覚センター	幸町1-21-1 (24)5055 IP 050(5528)4917 日立シビックセンター地下	m ² 417.4	教材・機材貸出コーナー 映像セミナー室 会議室 制作編集室	9 人 (うち会計年度任用職員 6人、再任用1人)

(2) 基本方針

市民の視聴覚文化の拠点として、視聴覚教材・機材の有効な利用の拡大を図り、市民の学習及び文化活動を支援し、学校教育及び生涯学習の振興に寄与する。

(3) 主な事業

ア 映像文化振興事業

視聴覚センター及び市内各所（学校、地域、公共施設等）での映画会等を開催し、映像文化の普及・発展を図るとともに、視聴覚教材・機材を提供し、市民の学習及び文化活動を支援する。

イ 郷土映像制作事業

郷土関連の映像教材を制作・供給し、市民の学習及び文化活動を支援する。（学校対象の教材及び地域の自主学習等で利用できる教材を制作する。）また、貴重な郷土資料の撮影、編集、保存を行う。

(4) 利用状況

ア 施設利用状況

	利 用 件 数			利 用 人 数		
	学校教育	社会教育	計	学校教育	社会教育	計
平成29年度	14件	289件	303件	181人	6,907人	7,088人
平成30年度	25件	253件	278件	442人	5,580人	6,022人
令和元年度	14件	211件	225件	220人	5,108人	5,328人

イ 視聴覚教材・機材の保有数

(ア) 視聴覚教材（貸出用）

（令和2年3月31日現在）

	16mm・8mm フィルム	ビデオテープ	DVD	その他
保有数	792本	5,002本	1,180本	366本

(イ) 視聴覚機材（貸出用）

（令和2年3月31日現在）

	16mm・8mm 映写機	DVD	VTR	ビデオプロジェクタ	その他
保有数	4台	5台	2台	7台	暗幕等

ウ 視聴覚教材・機材の利用状況

(ア) 視聴覚教材利用件数

(件)

	16mm・8mm フィルム	ビデオテープ	DVD	その他
平成29年度	10	431	3,719	5
平成30年度	5	365	3,427	0
令和元年度	8	122	2,720	2

(イ) 視聴覚機材利用件数

(件)

	16mm・8mm 映写機	DVD	VTR	ビデオプロジェクタ	その他
平成29年度	1	87	1	179	478
平成30年度	2	91	0	200	487
令和元年度	0	132	1	253	486

(5) 各種事業の実施状況

ア 上映会実施状況（令和元年度）

事業名	回数	人数	備考
小中学生のための映画鑑賞事業	19	約5,000	市内全中学校で『ある町の高い煙突』を上映
館内上映会 ひたちシネマ キッズアニメコーナー	176	4,508	ひたちシネマ 70回 2,017人 キッズアニメコーナー 106回 2,491人
地域支援上映会等	16	992	市内交流センター等で開催
「ある町の高い煙突」上映会協力	3	約3,900	期日：6月9日(日)、場所：日立市民会館

イ ひたち映画祭（場所：多賀市民会館ホール）

期日	上映作品等	鑑賞人数
9月21日(土)	「BIRTHDAY」、「風流れるままに」、「孤独の輪郭」、「それぞれのヒーローたち」	323人
9月22日(日)	「ストロボ」、「水戸黄門Z」、「みんなのうた」、「桜並木の満開の下に」、「天使を誘惑」	523人

ウ 映像制作学習事業

メディアリテラシー教育（情報発信・処理能力）とプレゼンテーション技法の習得を目的として、小学5・6年生を対象に映像作品の制作を行った。

(ア) 実施校 東小沢小学校（5年生7人、6年生6人）

(イ) 完成作品 「東小沢小学校紹介」（8分30秒）

(ウ) 発表等 作品DVDを市内各小学校等に配布した。※発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止。

エ 自主制作実施状況（令和元年度）

(ア) 行政放送「映像ライブラリー」番組制作

JWAY「キャッチアップ!いいね」にて放映。年6本制作

(イ) 記録撮影等

神峰神社大祭礼、市制80周年記念式典、環境教育活動発表会等

オ 研修・講習実施状況（令和元年度）

夏休み特別講座（対象：小中学生）

日時	場所	内容	鑑賞人数
8月8日（木） ①10時10分～ ②13時30分～	映像セミナー室	映像で探る昆虫の世界（上映会） 「もんしろちょうの育ち方」、「国蝶オオムラサキの一生」、「アリがチョウを育てるシジミチョウの奇妙な生活」	①19人 ②46人
8月9日（金） 13時30分～	映像セミナー室 会議室	チョウのお話と標本づくり 講師：有賀俊司氏（元高校教諭）	45人

カ その他

(ア) 第90回都市対抗野球大会（日立市代表「日立製作所」の応援）パブリックビューイング開催

期 日：7月17日（水）～7月24日（水） 4回

会 場：日立シビックセンターアトリウム、日立市視聴覚センター映像セミナー室

来場者数：延べ約400人

(イ) ラグビーワールドカップ2019（日本対ロシア戦の応援）パブリックビューイング開催協力

期 日：9月20日（金）

会 場：日立市役所大屋根広場

来場者数：約800人

4 スポーツ施設

(1) 市民運動公園

豊かな緑と芝生の中に体育館、陸上競技場、野球場及びテニスコートなどの各種体育施設や憩いの場を配したスポーツ・レクリエーションセンターで、市民の体力づくり、スポーツ振興、レクリエーションの需要にこたえるために整備された総合公園。

令和元年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体2019」では、卓球、バスケットボール、軟式野球、体操（体操競技・新体操）、パンポンの競技会場として使用された。

所在地（電話・FAX）	東成沢町2丁目15番1号 電話 35-0767 FAX 34-1191		
建設年度	昭和44年10月工事着工・昭和51年3月完工		
敷地面積	105,385m ² （臨時駐車場等除く。）	備考	日立市施設の補助執行

(2) スポーツ広場

市民が気軽にスポーツ、レクリエーションに親しみながら健康・体力づくりができるよう、地域コミュニティづくりにも幅広く活用できる施設。

名称	折笠 スポーツ広場	諏訪 スポーツ広場	十王 スポーツ広場	河原北浜 スポーツ広場	中里 スポーツ広場
所在地 （電話・FAX）	折笠町 987番地1 電話・FAX 43-2397	諏訪町 963番地3 電話・FAX 38-0963	十王町友部 1936番地1 電話・FAX 39-2446	河原北浜 1丁目5番 電話・FAX 35-5050	入四間町 513番地1 電話・FAX 59-0818
開設年月日	平成5年4月1日	平成9年4月1日	昭和53年4月1日	平成19年9月1日	昭和58年4月1日
敷地面積	30,218m ² （臨時駐車場等除く。）	46,788m ²	39,534m ²	67,443m ²	38,422m ²

(3) 武道館

柔道・剣道・空手等の武道のほか、健康体操や卓球等でも利用できる施設。

名称	日立武道館	多賀武道館
所在地 （電話・FAX）	白銀町2丁目21番15号 電話・FAX 22-0361	未広町1丁目1番2号
開設年月日	昭和43年2月1日 （大正6年創建）	昭和54年6月1日

(4) 市民プール

体力向上やレクリエーションの場として夏季（7月1日～9月10日）に利用できる施設。

名称	じゅうおう市民プール
所在地 （電話・FAX）	十王町友部1936番地1 電話・FAX 39-2446
開設年月日	昭和55年6月
備考	市長事務局からの事務委任

(5) 市民広場等

市民が気軽に野球やサッカー等のスポーツ、レクリエーションの場として利用できる広場。

名称	滑川市民広場	十王市民広場	高鈴少年広場
所在地	滑川本町1丁目21番	十王町伊師3462番地	高鈴町2丁目7番
開設年月日	昭和39年10月1日	昭和59年4月1日	昭和54年5月1日
敷地面積	18,238m ²	10,925m ²	14,999m ²
備考	日立市施設の補助執行		

(6) 利用状況

(単位：人)

施設	年度									
	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
総 数	561,423	372,229	417,353	418,225	384,660	405,289	443,842	807,822	787,503	776,785
運 動 公 園	266,561	108,723	121,618	115,633	117,790	130,976	165,474	498,164	475,699	483,005
総合体育館	135,003	—	—	—	—	—	45,653	350,639	327,820	342,407
テニスコート	60,330	52,833	61,342	48,261	58,394	61,658	52,761	69,278	60,781	56,241
陸上競技場	45,139	43,222	43,090	49,421	44,289	52,503	52,297	40,845	56,444	45,202
野 球 場	26,089	12,668	17,186	17,951	15,107	16,815	14,763	37,402	30,654	39,155
市 民 広 場	27,993	26,927	26,274	34,565	26,137	20,763	20,310	19,992	19,567	13,276
滑 川	17,322	15,944	13,391	21,168	13,056	7,396	8,623	7,974	9,744	5,506
十 王	2,535	2,642	3,125	3,643	3,886	4,780	3,438	3,557	2,077	1,887
高 鈴	8,136	8,341	9,758	9,754	9,195	8,587	8,249	8,461	7,746	5,883
市 民 プ ー ル	19,497	5,978	11,528	8,361	7,491	6,862	6,105	5,454	6,752	4,781
か ね さ わ	7,906	—	—	—	—	—	—	—	—	—
じ ゅ う お う	11,591	5,978	11,528	8,361	7,491	6,862	6,105	5,454	6,752	4,781
武 道 館	18,962	29,530	32,235	30,629	29,368	30,383	29,627	29,926	29,826	24,456
日 立	0	10,632	9,986	12,839	13,644	14,480	14,033	13,596	15,578	15,153
多 賀	18,962	18,898	22,249	17,790	15,724	15,903	15,594	16,330	14,248	9,303
折笠スポーツ広場	55,705	56,617	49,404	52,936	42,685	47,797	50,361	93,395	102,372	111,231
自 由 広 場	15,132	18,507	16,052	14,802	11,782	12,302	10,362	54,384	56,543	62,850
テニスコート	40,573	38,110	33,352	38,134	30,903	35,495	39,999	39,011	45,829	48,381
諏訪スポーツ広場	65,394	30,789	52,130	54,342	46,637	56,992	56,882	62,578	58,832	61,699
自 由 広 場	27,680	—	15,147	13,837	15,779	18,359	17,271	16,163	15,253	13,500
テニスコート	31,895	27,191	33,118	35,359	23,916	30,322	30,416	36,666	33,331	38,385
ターゲットバードゴルフコース	5,819	3,598	3,865	5,146	6,942	8,311	9,195	9,749	10,248	9,814
十王スポーツ広場	83,145	93,613	102,952	94,867	94,978	92,581	93,871	75,745	72,886	57,070
体 育 館	63,921	72,067	80,207	76,001	68,142	69,687	69,780	55,593	52,319	44,527
自 由 広 場	12,434	13,884	16,037	12,508	16,950	14,173	14,107	10,154	11,587	7,095
テニスコート	6,790	7,662	6,708	6,358	9,886	8,721	9,984	9,998	8,980	5,448
河原子北浜スポーツ広場	8,781	8,695	9,720	10,740	11,151	10,774	12,215	12,306	12,016	11,978
ターゲットバードゴルフコース	8,781	8,695	9,720	10,740	11,151	10,774	12,215	12,306	12,016	11,978
中里スポーツ広場	15,385	11,357	11,492	10,558	8,423	8,161	8,997	10,262	9,553	9,289
自 由 広 場	15,385	11,357	11,492	10,558	8,423	8,161	8,997	10,262	9,553	9,289

※ 総合体育館は、平成29年1月21日から供用開始。平成22年度は、旧中央体育館の利用人数

※ かねさわ市民プールは、東日本大震災の影響により、平成23年3月から使用休止。平成25年3月31日付けで廃止

5 その他の施設

名称	所在地(電話)	敷地面積	建物延面積	主な設備等	建設年月日	職員数
暇修館	大久保4-15-1 (36)0553	1,641 m ²	183 m ²	和室(6) 管理人室	S48.5.1	1 (会計年度 任用職員1)

VI 資料編

1 日立市教育委員会及び日立市の沿革

	日立市教育委員会	日立市
昭和 21年		戦災復旧事業に着手する。
23		日立市水道株式会社が市営となる。 かみね公園の整備に着手する。
26		都市計画事業により、平和通り（幹線道路、幅員 36m）が開通し、街路樹としてサクラを植栽する。
27	教育委員会法の制定により、地方教育委員会選 挙が実施される。（10. 5） 日立市教育委員会を設置する。（11. 1） 事務局に、庶務課、学校教育課、社会教育課を 設ける。（職員22名）	
28	大雄院、中小路幼稚園を開園する。（4. 1）	
30	事務局に体育保健課を加える。 油縄子小学校を開校する。（4. 1）	日立、多賀、久慈、中里、日高、坂本、東小沢 1 市 2 町 4 村合併による新日立市が誕生する。（世 帯数26, 696世帯、人口129, 300人）
31	教育委員会法の改正により教育委員が任命制と なる。（10. 1）	豊浦町が編入合併する。
32		久慈商港（現日立港）の起工式が行われる。
33	日立市文化協会が発足する。	
34		日立風流物が、国の重要民俗資料（重要有形民俗 文化財）に指定される。
35	多賀中学校大久保分校を開校する。（4. 1）	日立港後背地（214. 5ha）の土地区画整理事業に着 手する。
36	大久保中学校として独立する。（4. 1） 宮田、河原子幼稚園を開園する。（4. 1） 成沢公民館を開館する。	
37	上諏訪小学校を油縄子小学校に吸収統合する。 （3. 31） 市制施行20周年記念事業として記念図書館を開 館する。（11. 6）	
38	上諏訪青少年の家を開設する。（4. 1） 事務局に指導室を加える。（4. 1）	
40	中深荻小学校菅分校を廃校する。（3. 11） 会瀬青少年の家を開設する。 日立市美術展覧会事業を開始する。	日立市民会館を建設する。 群馬県桐生市と国内親善都市を提携する。
41	北部学校給食共同調理場を開設する。（5. 1） 移動図書館を開始する。（10. 15）	

	日立市教育委員会	日立市
42	中深荻小学校を中里小学校に吸収統合する。(3. 31) 大雄院小学校に言語障害児学級を設置する。(4. 1) 塙山幼稚園を開園する。(4. 1) 機構改革により、総務課(庶務係、施設係)、学務課(学務係、管理係、給食係)、社会教育課(社会教育係、体育係)、指導室を設置する。(7. 1)	日立港が開港し、重要港湾に指定される。
43	河原子中学校を開校する。(4. 1) 久慈、水木幼稚園を開園する。(4. 1) 南部学校給食共同調理場を開設する。(4. 1) 日立養護学校高等部を開設する。(4. 1)	
44	諏訪小学校を開校する。(4. 1) 滑川幼稚園を開園する。(4. 1) 日立市が文部省特殊教育推進地区に指定される。(昭和44・45年度) 教育研究所を開所する。(6. 30)	公共下水道事業に着手する。
45	根道丘幼稚園を開園する。(4. 1) 大久保小学校にことばの教室を設置する。(4. 1) 産業文化会館内に記念図書館多賀分館を開館する。(5. 11) 中里公民館を開館する。(5. 20)	重度心身障害児のための施設「太陽の家」を開設する。
46	事務局の係制度を廃止する。(2. 1) 入四間小学校を中里小学校に吸収統合する。(3. 31) 金沢小学校、日立養護学校小学部を開校する。(4. 1)	日立市民運動実践協議会が組織化される。
47	日立養護学校川尻分校を開校する。(4. 1) 南高野、中里幼稚園を開園する。(4. 1)	
48	成人式を実行委員会方式により実施する。(1. 15) 事務局に学校施設課、体育保健課を加える。(4. 1) 滑川小学校を開校する。(4. 1) 高鈴幼稚園を開園する。(4. 1) 坂下公民館を開館する。(4. 1) 奨学金貸付事業が教育委員会に移管され、貸付事業を開始する。(制度は昭和40年に民生部で開始)(4. 1) 暇修館を復元する。 視聴覚センターを開所する。(6. 1)	市民運動公園の建設に着手する。
49	指導室を指導課に改称する。(1. 1) 大みか小学校を開校する。(4. 1) 豊浦幼稚園を開園する。(4. 1) 助川小学校に病弱学級を設置する。(4. 1) 成沢小学校に情緒障害児学級「なるさわ学級」を設置する。(4. 10) 養護学校川尻分校を助川分校に変更する。(5. 1) 多賀公民館河原子分館を開館する。(6. 1)	第29回国民体育大会が茨城県で開催され、日立市でサッカー、バスケット、柔道、軟式野球の4種目が行われる。
50	本山中学校を駒王中学校に吸収統合する。(3. 31) 大沼幼稚園を開園する。(4. 1) 郷土博物館を開館する。(4. 12) 市民運動公園管理事務所を設置する。(10. 11)	特別養護老人ホーム「日立萬春園」を建設する。

	日立市教育委員会	日立市
51	田尻、金沢幼稚園を開園する。(4. 1) 中央学校給食共同調理場を開設する。(4. 1) 太陽の家、母子療育ホームに肢体不自由児学級を設置する。(4. 1)	もとやま自然の村を開設する。
52	大雄院幼稚園を廃園する。(3. 31) 田尻小学校を開校する。(4. 1)	市の花「サクラ」、市の木「ケヤキ」を制定する。 日立風流物が国の重要無形民俗文化財に指定される。
53	本山小学校を仲町小学校に吸収統合する。(3. 31) 会瀬幼稚園を開園する。(4. 1) 大久保小学校にきこえの教室を設置する。(4. 1) 事務局に学校管理課を加える。(7. 1)	心身障害者スポーツセンター福祉作業所を開設する。
54	大雄院小学校を仲町小学校に吸収統合する。(3. 31) 埴山小学校を開校する。(4. 1) 言語障害児学級を大雄院小学校から助川小学校に移設する。(4. 1) 日立市奨学金貸付基金（基金額1億円）を設置する。(4. 1) 教育研究所が会瀬小学校内に移転する。(4. 1)	
55	滑川、台原中学校を開校する。(4. 1) 泉が森公民館を開館する。(4. 1)	清掃センターを開設する。
56	記念図書館多賀分館を多賀図書館とする。(3. 31) きこえ、ことばの教室を大久保小学校から油縄子小学校に移設する。(4. 1) 駒王中学校に情緒障害児学級を設置する。(4. 1) 教育会館を開設し、視聴覚センター、教育研究所、多賀図書館を移設、開館する。(5. 1)	公設地方卸売市場を開設する。
57	機構改革により、庶務課（庶務係、施設係）、学務課（学務係、管理係）、社会教育課（社会教育係、文化係）、体育保健課、指導課を設置する。(4. 1)	アメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市と姉妹都市を提携する。 知的障害者厚生施設「大みかけやき荘」を開設する。(4. 1)
58	中里若者センターを開所する。 東金沢公民館を開館する。(5. 1)	日立銀座モールが完成する。
59	外国人派遣指導主事（MEF）を配置する。(7. 1)	ごみ処理余熱利用施設としてかみね温水プールを開設する。
60	会瀬青少年の家を改築する。(7. 1)	常磐自動車道が日立北インターチェンジまで開通する。 日立共同福祉施設「ホリゾンかみね」を開設する。
61	バーミングハム市に交歓研修生として中学生7名を派遣する。(8. 20～29)	茨城厚生年金健康福祉センター「サンピア日立」を開設する。
63	滑川公民館を開館する。 ひたち生き生き百年塾推進本部が発足する。(8. 20)	ニュージーランド タウランガ市と姉妹都市を提携する。

	日立市教育委員会	日立市
平成 2	記念図書館がシビックセンター内に移転する。 (11. 10)	日立駅前再開発整備事業の中核施設として「日立シビックセンター」を開設する。
3		助川町の山林火災で、約217ヘクタールの林野が消失する。 パティオモールが完成する。(12. 10)
4	市民運動公園陸上競技場を、全天候グラウンドに改修する。(3. 23) 事務局に生涯学習室を設置する。(4. 1) (財)日立市体育協会を設立する。(4. 1) 生涯学習総合イベントを開催する。(11. 14, 15)	
5	折笠スポーツ広場が完成する。(3. 31) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」を勤労青少年ホーム内に開設する。(7. 1) 駒王中学校屋内運動場が完成する。(8. 25)	日立鉱山大煙突が崩壊する。(2. 19) 日立中央インターチェンジが開通する。 (10. 20)
6	市民運動公園管理事務所を廃止する。(3. 31) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」が産業文化会館内に移転する。(4. 1) 小・中・養護学校全校にファックスが導入される。 (7. 1) 助川中学校屋内運動場が完成する。(10. 20) 中部市民広場の整備に着手する。(12. 23)	奥日立きららの里を開設する。(5. 28) みなみひまわり学園を開園する。(6. 1) 日立萬春園デイサービスセンターを開設する。 (12. 21)
7	バーミンガム市に交歓研修生として中学生14名を派遣する。(8. 1～8. 11)	終戦50周年記念事業として、平和の鐘が日立駅前広場に設置される。
8	機構改革により、総務課(庶務財政係、計画調整係)、施設整備課(施設係、学校管理係)、学務課、生涯学習課(生涯学習係、文化係)、スポーツ振興課、指導課を設置する。(4. 1)	
9	諏訪スポーツ広場が完成する。(3. 20) 豊浦中学校屋内運動場が完成する。(5. 7) 教育プラザを開館する。(12. 22) 教育委員会事務局が教育プラザ内に移転する。 (12. 22)	
10	増訂版「日立の文化財」を発刊する。	
11	旧共楽館(伝統的木造建築物)が国の登録有形文化財に登録される。(3. 19)	日立地区産業支援センターを開設する。
12	機構改革により、総務課(庶務財政係、計画調整係、施設係)、学務課(学務係、学校管理係)、生涯学習課、スポーツ振興課、青少年課、指導課を設置する。(4. 1) 泉丘中学校新校舎が完成する。	複合老人福祉施設「かねはた」を開設する。 日立市保健センターを開設する。
13	養護学校助川分校を廃校する。(3. 31) 滑川公民館を自主運営化する。(4. 1)	新ごみ処理施設「エコクリーンかみね」を開設する。

	日立市教育委員会	日立市
14	事務局に教育行政推進担当を設置する。(4. 1) 東金沢公民館を自主運営化する。(4. 1) ブックスタート事業を開始する。(7. 1) 記念図書館「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。(4. 23)	介護予防拠点施設「中里ふれあいプラザ」がオープンする。 全国高等学校総合体育大会が茨城県で開催され、日立市でバスケットボールの1種目が行われる。
15	駒王中学校新校舎が完成する。 久慈幼稚園を廃園する。(3. 31) 日立、坂下、多賀、日高、豊浦、中里、久慈公民館を自主運営化する。(4. 1)	介護予防拠点施設「会瀬ふれあいプラザ」を開設する。 市のさかな「さくらダコ」を制定する。 茨城キリスト教大学と連携協定を締結する。 (11. 25)
16	久慈、坂下、中里公民館を移転する。 日立市学校教育振興プランを策定する。(8. 20) 櫛形幼稚園、櫛形・高原・山部小学校、十王中学校、十王図書館、十王公民館が加わる。(11. 1)	吉田正音楽記念館を開設する。(4. 29) 山形県山辺町と友好都市を提携する。(5. 7) 十王町と合併する。(11. 1)
17	事務局から教育行政推進担当を廃止する。(4. 1) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」が青少年ホーム内に移転する。(4. 1)	市民課、中部支所を土・日曜日開庁とする。 (6. 4) 日立電鉄線が廃止される。
18	久慈中学校屋内運動場が完成する。(3. 6) 十王公民館を除く公民館及び分館を廃止する。(3. 31) 教育研究所が教育プラザ内に移転する。(9. 1)	公民館、コミュニティセンター、ふれあいプラザ等の名称を交流センターに統一する。 (4. 1) 多賀市民プラザを開設する。 子どもすくすくセンターを開設する。 茨城県県北生涯学習センターを開設する。
19	高原小学校を櫛形小学校に吸収統合する。(3. 31) 中央学校調理場及び南部調理場を廃止し、南高野調理場を設置する。(8. 1) 北部調理場を宮田調理場に改称する。(8. 1) 河原子北浜スポーツ広場を開設する。(9. 1) 多賀図書館を改修し、子ども図書室及び小・中学生調べ学習室を整備する。(11. 1)	十王公民館を十王交流センターに変更する。 (4. 1) ねんりんピックいばらき2007が開催され、日立市では卓球とターゲットバードゴルフの2種目が行われる。(11. 10)
20	坂本小学校新校舎が完成する。(3. 4) 中学生海外短期留学支援事業を開始する。(3. 12) 十王図書館の無休化を試行する。(8. 4)	消防拠点施設を開設する。 南部支所を土・日曜日開庁とする。(4. 12) 国民文化祭いばらき2008が開催される。 (11. 1)
21	日高中学校屋内運動場が完成する。(3. 3) 中里若者センターを中里スポーツ広場に改称する。(4. 1) (株)日立製作所(日立理科クラブ)と理数教育の連携協力事業を開始する。(4. 1) 多賀図書館、視聴覚センターの無休化を試行する。 (5. 4) 旧共楽館(日立武道館)が、市指定有形文化財(建造物)になる。(9. 30)	市制施行70周年記念式典が行われる。(9. 1) 「たかはら自然体験交流施設」を開設する。 日立風流物が「ユネスコ無形文化遺産の保護に関する条約」の「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される。(9. 30)
22	記念図書館の無休化を試行する。(1. 5) 市民運動公園野球場を全面人工芝に改修する。(3. 24)	第17回全国鶴飼サミット日立大会が行われる。 (4. 8~9)

	日立市教育委員会	日立市
22	<p>日立市教育プラザ内に日立市こども発達相談センターを開設する。(4. 1)</p> <p>中里幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>青少年課を生活環境部に移管する。(4. 1)</p> <p>日立市長杯選抜野球大会が、第34回大会から日本野球連盟主催大会となり、優勝チームに社会人野球日本選手権大会への出場権が与えられる大会となる。</p> <p>日本プロ野球名球会等の元プロ野球選手による「ドリーム・ベースボール」(親善野球、野球教室、講演会)を開催する。(8. 29)</p> <p>田尻小学校に「元気な子ども遊びの広場」を開所する。(9. 21)</p> <p>田尻幼稚園・大沼幼稚園で預かり保育を試行する。(10. 1)</p>	<p>久慈サンピア日立、久慈サンピア日立スポーツセンターを開設する。(4. 21)</p> <p>河原子海岸北浜で全日本サーフィン選手権大会が行われる。(8. 25~29)</p> <p>日立市角記念市民ギャラリーを開設する。(10. 1)</p>
23	<p>視聴覚センターがシビックセンター内に移転する。(3. 19)</p> <p>日立市未来をひらく子ども教育基金(基金額10,000万円)を設置する。(3. 22)</p> <p>大久保中学校新校舎が完成する。(3. 23)</p> <p>河原子中学校屋内運動場が完成する。(3. 25)</p> <p>十王町史通史編を刊行する。(3. 31)</p> <p>河原子幼稚園を休園とする。(4. 1)</p> <p>日立武道館の改修工事が完了し利用再開する(5. 13)</p> <p>市立図書館の広域利用(北茨城市、高萩市、常陸太田市、いわき市)を開始する。(7. 1)</p> <p>多賀図書館におはなし広場「ふわふわ」を整備する(11. 11)</p>	<p>日立シビックセンターが平成22年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞する。(授賞式1. 21)</p> <p>東北地方太平洋沖地震が発生(東日本大震災)、海岸部を中心として市全域で大きな被害を受ける。(3. 11)</p> <p>日立駅自由通路・橋上駅舎が完成する。(4. 7)</p> <p>市役所窓口業務を臨時庁舎に移転する。(8. 29)</p>
24	<p>事務局に新体育館建設準備室を設置する。(1. 1)</p> <p>多賀図書館内に「日立市子ども読書活動推進センター」を設置する。(3. 1)</p> <p>日高中学校新校舎が完成する。(3. 8)</p> <p>会瀬小学校新校舎及び会瀬幼稚園新園舎が完成する。(3. 16)</p> <p>平沢中学校屋内運動場が完成する。(3. 30)</p> <p>機構改革により、総務課(庶務係、計画財務係、新図書館施設建設担当)、学校施設課(管理係、施設係)、学務課、生涯学習課、スポーツ振興課、新体育館建設準備室、指導課を設置する。(4. 1)</p> <p>日立養護学校を日立特別支援学校に改称する。(4. 1)</p> <p>適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」を教育会館内に移転する。(4. 1)</p> <p>第1回日立さくら杯社会人野球大会を開催する。(9. 22)</p> <p>新体育館建設準備室を新体育館建設課に改称する。(10. 1)</p>	<p>市消防本部に高度救助隊が発足する。(4. 1)</p> <p>日立市・バーミングハム市姉妹都市提が30周年となる。(4. 23)</p> <p>日立駅情報交流プラザを開設する(9. 1)</p>
25	<p>かねさわ市民プールを廃止する。(3. 31)</p> <p>中里小・中学校で小規模特認校制度を実施する。(4. 1)</p> <p>記念・多賀・十王図書館の無休化を本格実施する。(4. 1)</p>	<p>日立市新交通(BRT)を運行開始する。(3. 25)</p> <p>山側道路の全区間を供用開始する。(3. 25)</p>

	日立市教育委員会	日立市
25	<p>多賀図書館「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。(4. 23) 南部図書館を開館する。(4. 24) ケーブルテレビ（JWAY）を活用したテレビ学習室の放送を開始する。(7. 6) 市民運動公園テニスコートを全面人工芝に改修する。(9. 26) 風土記撰進の詔が発せられてから1300年を記念して冊子「常陸国風土記にみる日立」を発行する。(10. 4)</p>	<p>インターネットモニター制度の運用を開始する。(5. 30)</p>
26	<p>助川中学校新校舎が完成する。(1. 31) 日立市学校教育振興プラン（2014～2018）を策定する。(3. 25) 水木小学校新校舎が完成する。(3. 31) 幼稚園業務の一部が保健福祉部の補助執行となる。(4. 1) 日立市いじめ防止基本方針を策定する。(5. 1) 新体育館の愛称が「日立市池の川さくらアリーナ」に決定する。(12. 24)</p>	<p>みやた保育園と宮田幼稚園を一体化したみやた認定こども園を開設する。(4. 1) 日立あさかなセンターが道の駅に認定される。(9. 21) 日立駅がブルネル賞を受賞する。(10. 15) 十王町との合併10周年を迎える。(11. 1)</p>
27	<p>油縄子小学校新校舎が完成する。(3. 30) 南高野調理場の調理業務等を民間委託する。(4. 1) 日立市子ども読書活動推進計画（2015～2019）を策定する。(4. 1) 日立市子どもセンターで教育相談を開始する（こども発達相談センター相談員を月1回派遣）。(12. 1)</p>	<p>みやた保育園と宮田幼稚園が廃止され、みやた認定こども園に統一される。(4. 1) 日立市子どもセンターがオープンする。(12. 1)</p>
28	<p>日立市教育大綱を策定する。(3. 15) 学務課に学校適正配置推進室を設置する。(4. 1) 根道丘幼稚園を休園とする。(4. 1) 日立市ふるさと寄附金により、図書館4館に「子育て支援コーナー」を設置する。(7. 1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う教育委員会新制度への移行が完了する。(12. 25)</p>	<p>日立LNG基地及び茨城～栃木幹線が本格稼働を開始する。(3. 24) 久慈浜地区（ひたちBRTや南部図書館などの都市再生整備計画等）が、まちづくり情報交流大賞（国土交通大臣賞）を受賞する。(6. 10授賞式) ユネスコ政府間委員会において「山・鉾・屋台行事」の登録が正式決定する。（日立風流物が再登録される。）(12. 1)</p>
29	<p>「職業探検少年団」の継続的な活動が、「キャリア教育優良教育委員会」として文部科学大臣表彰を受ける。(1. 17) 市民運動公園総合体育館（池の川さくらアリーナ）を開館する。(1. 21) 折笠スポーツ広場自由広場を全面人工芝に改修する。(3. 21) 諏訪小学校新校舎が完成する。(3. 31) 根道丘、河原子幼稚園を廃園する。(3. 31) 事務局から新体育館建設課を廃止する。(4. 1) 中里小学校と中里中学校を併設型学校に位置付ける。(4. 1) 学校運営協議会モデル校2校を設置する。(4. 1) 田尻小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1)</p>	<p>市役所新庁舎を開設する。(7. 18)</p>

	日立市教育委員会	日立市
29	事務局が市役所内に移転する。(7. 18) 池の川さくらアリーナ開館記念「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を実施する。(7. 31)	
30	日立市立学校適正配置基本方針を策定する。(3. 22) 教育プラザ1階に「学習室」を設置する。(3. 25) 学校運営協議会モデル校9校を設置する。(4. 1) 塙山小学校、滑川小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1) 適応指導教室「ちゃれんじくらび日立教室」を教育プラザ内に開設する。(4. 1) 日立市いじめ防止基本方針を改定する。(5. 1) 夏休み最初の日曜日を「日立市一斉ラジオ体操の日」とし、地域コミュニティごとに体操会を実施する。(7. 22) 南部図書館入場者100万人達成セレモニーを実施する。(10. 10) 長者山遺跡が「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」として国の史跡に指定される。(10. 15)	大みか駅東西自由通路と大みか駅舎が供用開始する。(12. 8)
令和元	日立市教育振興基本計画を策定する。(1. 24) 久慈小学校新校舎が完成する。(2. 15) 平成30年度ビブリオバトル決戦大会開催(3. 9) 「ひたち大好き博士」マスコットキャラクターを決定する。(3. 15) 宮田学校給食共同調理場及び十王学校給食共同調理場を統合し、北部学校給食共同調理場を供用開始する。(4. 1) 南高野幼稚園を休園とする。(4. 1) 会瀬小学校、坂本小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1) 市民運動公園野球場のスコアボードをバックスクリーン一体型の電光掲示板(LED)にリニューアルする。(4. 10) ブックスタートパック20,000パック配布達成(4. 13) 市役所新庁舎大屋根広場を会場に加え、「日立市一斉ラジオ体操の日」を実施する。(7. 21) 第62回桐生市臨海子ども会の歓迎式典を市役所新庁舎大屋根広場で実施する。(7. 26)	市役所新庁舎がグランドオープンする(大屋根広場、多目的ホール棟、交通広場)。(3. 30) ひたちBRTが本格運行を開始する。(4. 1) 市役所の窓口等の支払いで電子マネーが使用可能となる。(7. 1) 第74回国民体育大会が茨城県で開催され、日立市で体操(新体操・体操競技)、卓球、バスケットボール、軟式野球の4種目が行われる。(9. 7~10. 8) 天皇皇后両陛下が日立市(池の川さくらアリーナ・国民宿舎「鶉の岬」・森林総合研究所林木育種センター・日立駅)を御訪問される。(9. 29)
2	日立市子ども読書活動推進計画(2020~2024)を策定する。(2. 26) 移動図書館車を更新する。(3. 30) 中里、南高野幼稚園を廃園する。(3. 31) 会瀬、高鈴、水木幼稚園を休園とする。(4. 1) 助川小学校、大久保小学校、水木小学校に放課後子ども教室を開設する。(4. 1) 新入学生徒へのスクールカバンの贈呈をスタートする。(4. 6)	かねさわ保育園と塙山幼稚園を一体化したはなやま認定こども園を開園する。(4. 1)

2 協議会・審議会・委員会委員名簿

日上市立小中学校学区審議会委員（任期：令和2年7月1日～令和4年6月30日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
鈴木裕一	市立小中学校校長	宮田小学校長
内山信弘	〃	多賀中学校長
佐久間勝正	市立小中学校PTA役員	宮田小学校PTA会長
清水裕則	〃	成沢小学校PTA会長
濱田敏孝	〃	久慈小学校PTA会長
中島裕信	〃	櫛形小学校PTA会長
和田規寿	〃	中里小・中学校PTA会長
青木俊一	市議会議員	総務産業委員会委員
今野幸樹	〃	教育福祉委員会委員
篠田砂江子	〃	環境建設委員会委員
草地学	学識経験者	日上市立小・中学校PTA連合会会長
木村雅史	〃	日上市立小・中学校PTA連合会顧問
深谷政幸	〃	日上市青少年育成推進会議会長
八田悦子	〃	日立地区交通安全母の会連合会補佐
遠藤隆利	〃	元学校長
上野義幸	〃	元学校長
大内康平	〃	元学校長
田山安雄	〃	元学校長
渡邊貴志	市職員	総務部長
橋本仁一	〃	生活環境部長

日上市いじめ調査委員会委員（任期：平成30年11月1日～令和2年10月31日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
末永純子	精神保健	日立港病院医師
近藤識之	法律	近藤法律事務所弁護士
小松正光	心理・福祉等	茨城県日立児童相談所所長
紺谷けい子	〃	日立市こども発達相談センター相談員
山田禮子	〃	日立人権擁護委員協議会日立部会人権擁護委員
小泉優子	児童等指導	平沢中学校長
飛田隆	学識経験者	茨城キリスト教大学教授
櫻井昌克	その他	教育委員会指導課生徒指導担当教育相談員（警察OB）
佐川章子	〃	保健福祉部子育て支援課長
玉置伸一	〃	生活環境部女性若者支援課長

日立市教育支援委員会委員（任期：令和2年6月1日～令和3年5月31日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
岡田正樹	医師	日立梅ヶ丘病院長
堀内康治	〃	堀内耳鼻咽喉科医院長
浅井淳	〃	日立おおみか病院副院長
伏屋陽子	〃	サンアイ眼科院長
勝間田忠彦	教育職員	櫛形小学校長
小泉功	〃	日立特別支援学校長
澤畠充子	〃	会瀬小学校教諭
村上真弓	〃	大久保小学校教諭
宮本留美子	〃	大みか小学校教諭
渡辺真弓	〃	大沼小学校教諭
三浦悦利子	〃	金沢小学校教諭
棚井京子	〃	塙山小学校教諭
宇須井一江	〃	日高小学校教諭
中野美千代	〃	櫛形小学校教諭
石川武志	〃	十王中学校教諭
武藤享子	〃	日立特別支援学校教諭
木村重文	〃	日立特別支援学校教諭
須藤貴志	〃	日立特別支援学校教諭
服部康子	〃	中小路幼稚園主査
沼田久美子	児童福祉施設の職員	かみちょう保育園長
大沢靖司	学識経験者	元学校長
藤田剛	市職員	学務課長
森山秀一	〃	指導課長
小池洋一	〃	教育研究所長
鈴木里佳	〃	教育研究所指導主事
東谷保	〃	障害福祉課長
羽根坂朋亮	〃	子どもセンター所長
大森美恵子	〃	健康づくり推進課長

日立市奨学生選考委員会委員（令和元年6月5日～令和3年5月31日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
舘野清道	市議会議員	総務産業委員会委員
千葉達夫	〃	教育福祉委員会委員
木村雅史	教育関係者	日立市立小・中学校PTA連合会顧問
鈴木仁	〃	県北地区高等学校長会（日立北高等学校長）
内山信弘	〃	日立市学校長会会長（多賀中学校長）
佐藤薫	民生委員	日立市連合民生委員児童委員協議会副会長
小林恵美子	〃	日立市連合民生委員児童委員協議会副会長
河合恭子	学識経験者	元学校長
鈴木正人	〃	茨城キリスト教大学児童教育学科准教授
鈴木さつき	市職員	保健福祉部長
窪田康徳	〃	教育部長

日立市社会教育委員（令和2年7月1日～令和4年6月30日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
古内勝紀	学校教育関係者	油縄子小学校長
松田能枝	〃	大沼幼稚園長
小野瀬静香	社会教育関係者	茨城県県北生涯学習センター事業グループリーダー
持田幸雄	〃	日立市コミュニティ推進協議会幹事
黒澤秀子	〃	ひたち生き生き百年塾推進本部推進委員
深谷政幸	〃	日立市青少年育成推進会議会長
中川雅子	〃	日立地区保護司会理事
長谷川美和	〃	日立市人権擁護委員会委員
柴田百恵	〃	日立女性フォーラム会長
根本晃	〃	日立市スポーツ推進委員協議会副会長
松浦みゆき	〃	日立国際交流協議会理事
草地学	家庭教育関係者	日立市立小中学校PTA連合会
影山美樹	〃	一般社団法人ライフ・ケア・ひたちすくすく担当主任
森戸裕子	〃	NPO法人ひたち親子の広場代表
飛田隆	学識経験者	茨城キリスト教大学教授
行田豊	〃	日立きららライオンズクラブ理事

日立市立図書館協議会委員（令和元年9月1日～令和3年8月31日）

（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
高野都	学校教育関係者	豊浦小学校長
草地学	社会教育関係者	日立市立小・中学校PTA連合会会長
菊池幾子	〃	十王図書館ボランティア
石川善憲	〃	久慈交流センター運営委員会委員長
鶴岡育枝	〃	ひたち図書館と歩む会代表
金丸さつき	家庭教育関係者	日立市親と子のサポーター
千葉達夫	学識経験者	教育福祉委員会委員
河合恭子	〃	元公立学校長
窪木雅啓	〃	前子ども読書活動推進アドバイザー

日立市郷土博物館協議会委員（任期：令和2年5月1日～令和4年4月30日）（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
鈴木洋一	学校教育関係者	県北教育事務所主査
横倉要次	〃	金沢小学校長(市教育研究会社会科研究部部長)
青木睦人	〃	茨城県立日立第一高等学校長 茨城県立日立第一高等学校附属中学校長
岩間信之	学識経験者	茨城キリスト教大学准教授
笹岡明	〃	郷土ひたち文化研究会理事
吉田修一	〃	教育福祉委員会委員長
堀口悟	〃	茨城キリスト教大学教授(大学図書館長)
平田章	社会教育関係者	日鉱記念館長 (JX金属(株)日立事業所 副所長兼総務部総務担当部長)
名倉剛次郎	〃	日立美術協会長
柴田百恵	〃	ひたち生き生き百年塾推進委員会委員
稲川修	〃	(株)日立製作所日立事業所総務部庶務課長
水庭久勝	〃	日立郷土芸能保存会長
皆川悠美子	〃	日立市らぼーる協会長
加古由岐子	家庭教育関係者	日立市子ども子育て会議委員

日立市文化財保護審議会委員（任期：令和2年5月1日～令和4年4月30日）（順不同、敬称略）

氏名	専門分野	備考
阿久津久	学識経験者 (考古・古代)	元(財)茨城県教育財団埋蔵文化財部長 元茨城県県北教育事務所埋蔵文化財指導員
國府田克茂	学識経験者 (学校教育・自然(地質))	元学校長
鈴木盈	学識経験者 (学校教育・地理)	元学校長
田中裕	学識経験者 (先史・古代、文化財)	茨城大学人文学部教授
佐川武男	学識経験者 (建造物)	川一工匠棟梁(伝統建築技能認定者)
大窪範光	学識経験者 (古代・中世)	元茨城高等学校・茨城中学校長

日立市学校給食共同調理場運営審議会委員（令和元年8月1日～令和3年7月31日）

（順不同、敬称略）

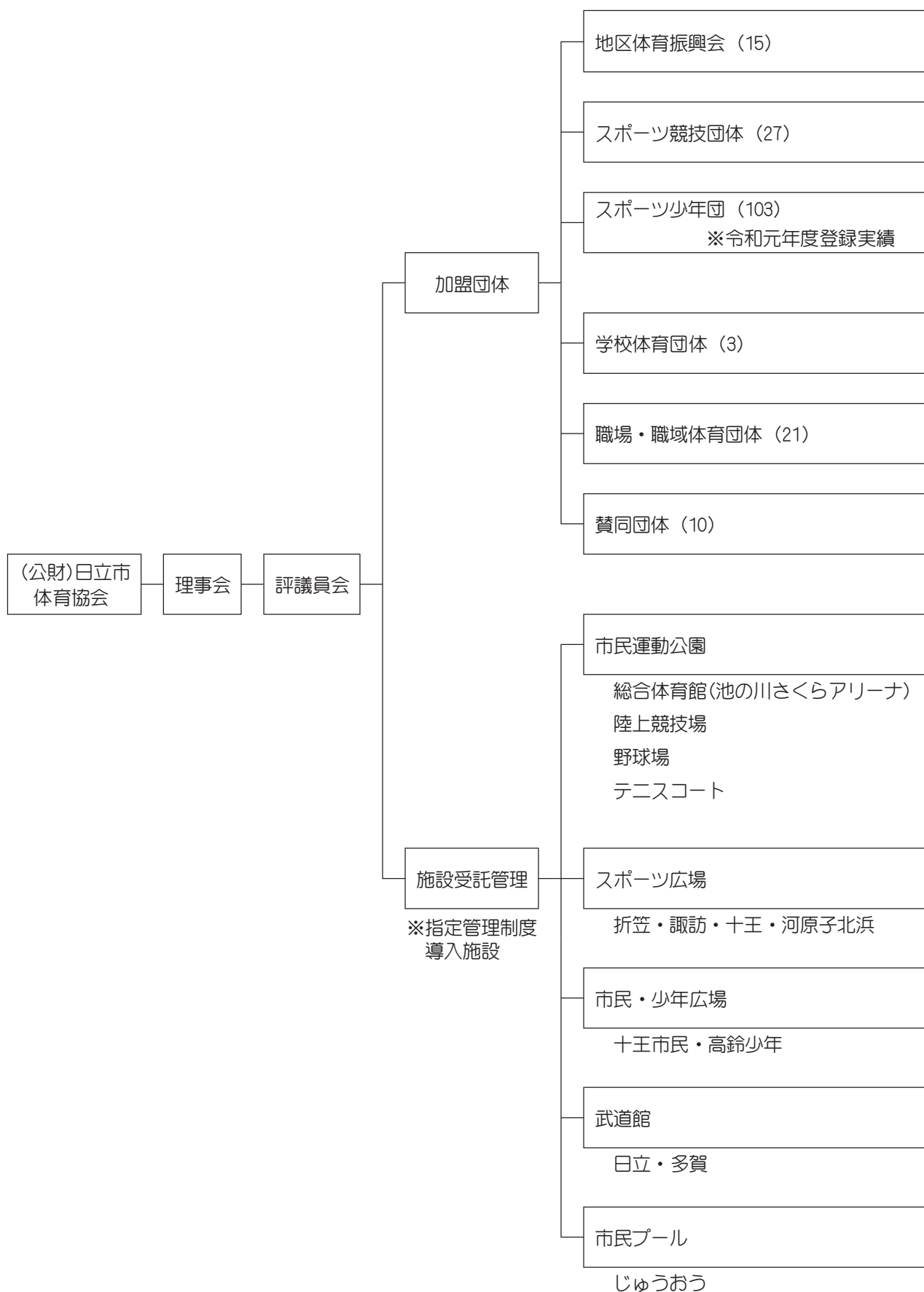
氏名	選出区分	備考
下山田 幹子	市議会議員	総務産業委員会委員
助川 悟	〃	環境建設委員会委員
堀江 紀和	〃	教育福祉委員会委員
藤森 結花	〃	教育福祉委員会委員
石川 悟	学校医	日立市医師会理事
西成田 真	〃	日立市医師会副会長
阿内 一彦	学校薬剤師	日立市学校薬剤師会会長
大曾根 洋子	〃	日立市学校薬剤師会幹事
大高 英康	保健所職員	日立保健所次長兼衛生課長
草地 学	保護者代表	日立市立小中学校PTA連合会会長
金丸 さつき	保護者代表	日立市立小中学校PTA連合会顧問
勝間田 忠彦	学校長	櫛形小学校長
大島 靖子	〃	河原子中学校長
井川 聡子	学識経験者	茨城キリスト教大学生生活科学部教授

日立市視聴覚センター運営委員会委員（令和元年9月1日～令和3年8月31日）

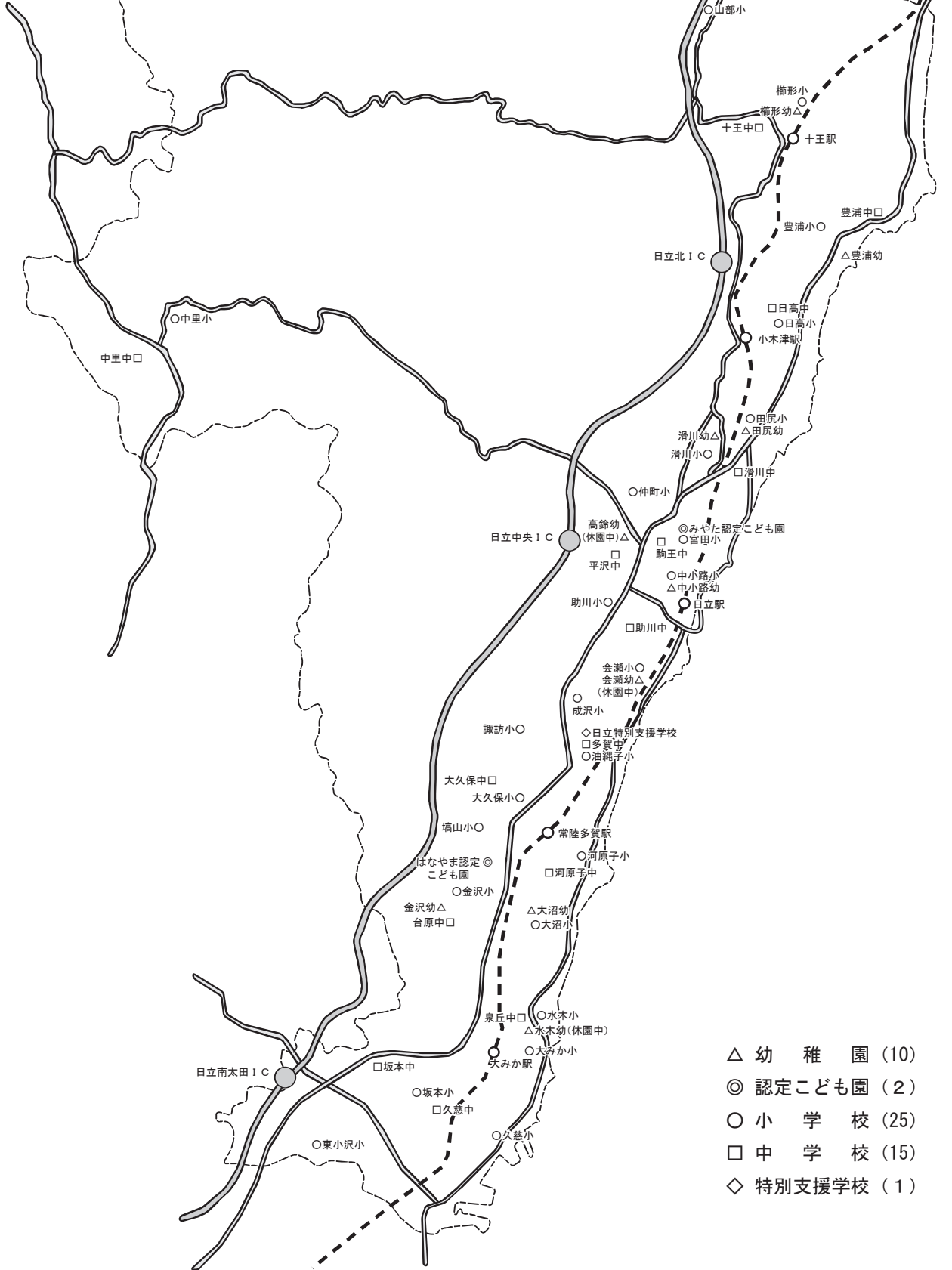
（順不同、敬称略）

氏名	選出区分	備考
岩波 英一	学識経験者	日立市文化協会会長
粕谷 圭	市議会議員	教育福祉委員会委員
高橋 克典	学校等の代表者	諏訪小学校長
内山 和恵	〃	はなやま認定こども園長
沼田 充弘	各種関係団体	公益財団法人日立市民科学文化財団事務局長
中言 裕之	〃	株式会社JWAY
豊田 正夫	〃	ひたちビデオサロン会員
水庭 由美子	〃	なでしこ会会員
萩庭 久美子	〃	かげ絵同好会会員
中村 大介	市職員	コミュニティ推進課長
作山 直弘	〃	教育委員会生涯学習課長
森山 秀一	〃	教育委員会指導課長

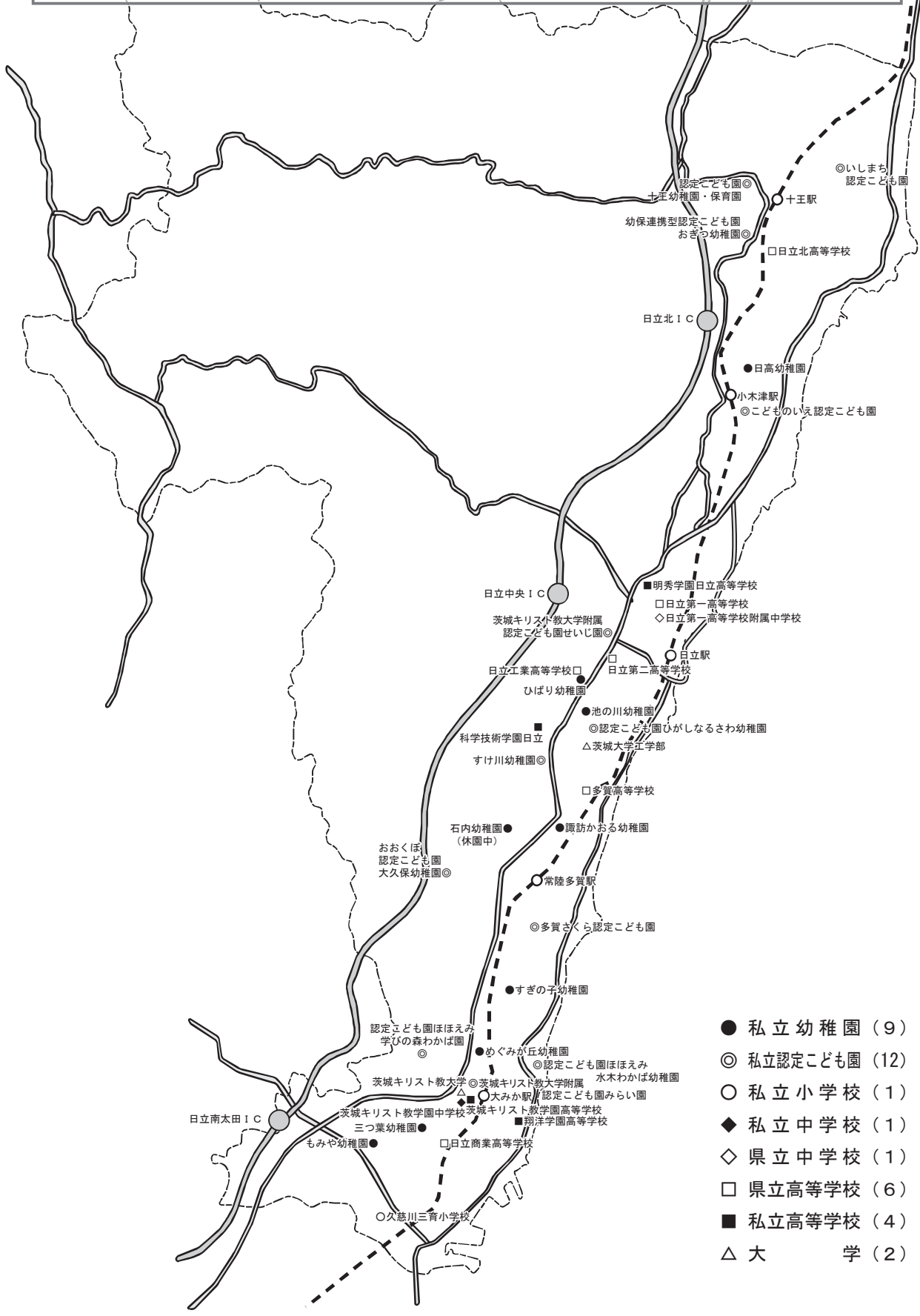
3 令和2年度(公財)日立市体育協会の組織図



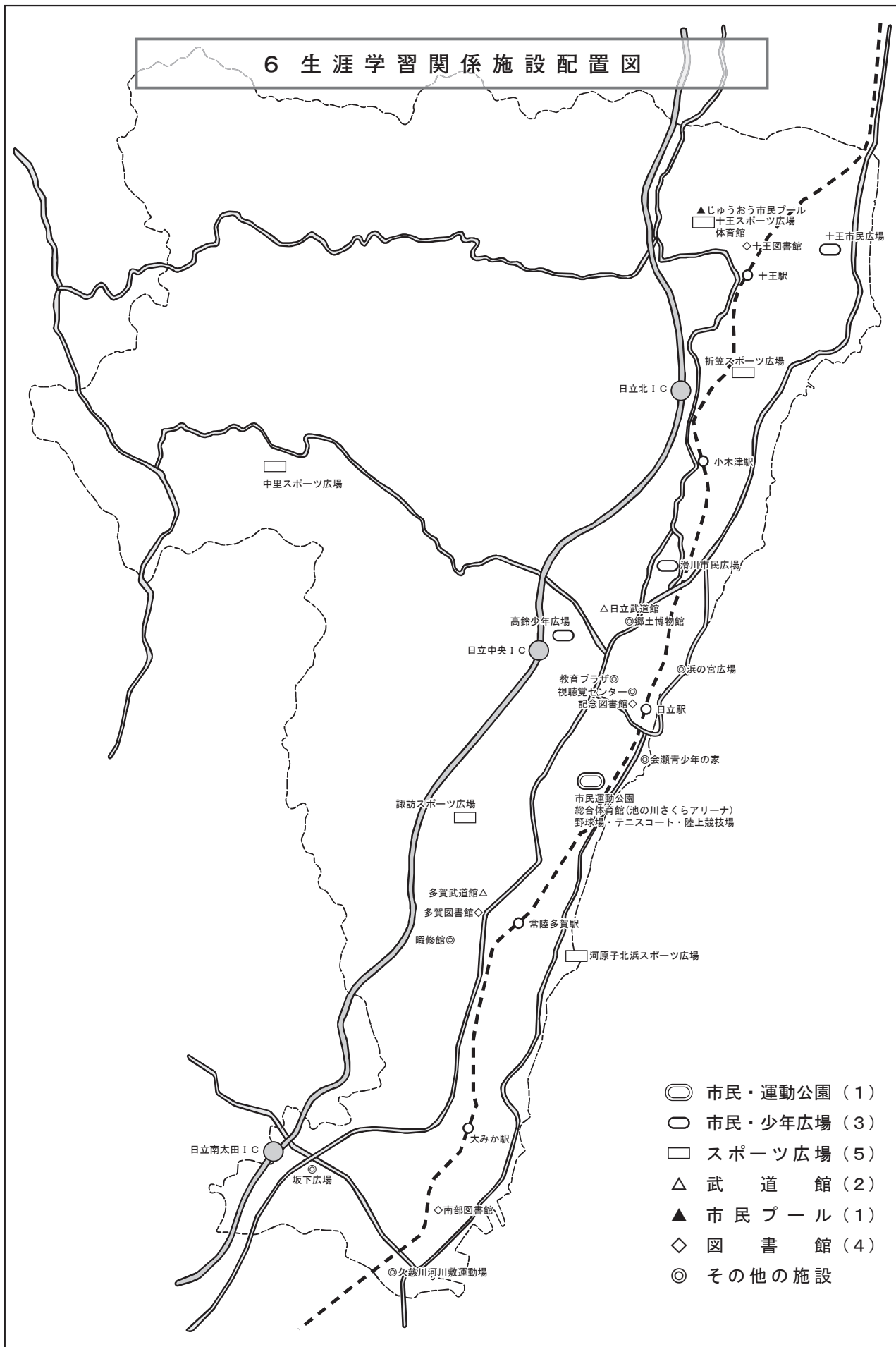
4 市立幼稚園、認定こども園、小・中学校及び特別支援学校配置図



5 幼稚園、認定こども園、小・中学校、高等学校及び大学配置図（市立を除く）



- 私立幼稚園（9）
- ◎ 私立認定こども園（12）
- 私立小学校（1）
- ◆ 私立中学校（1）
- ◇ 県立中学校（1）
- 県立高等学校（6）
- 私立高等学校（4）
- △ 大 学（2）



VI 資料編

2020 日立の教育

編集・発行 日立市教育委員会総務課
日立市助川町1丁目1番1号
電話 0294(22)3111(代)
050(5528)5121
ホームページ
<http://www.city.hitachi.lg.jp/kyouiku/>
メールアドレス
kyoiku-somu@city.hitachi.lg.jp
印刷所 いばらき印刷株式会社

【裏表紙のイラストについて】

「ひたち大好き博士」事業のマスコットキャラクター

左上：「Dr.ひたち」 イラスト原画：十王中学校 山村颯太さん

右下：「Dr.さくら」 イラスト原画：助川中学校 田中奈央さん



Dr.ひたち



Dr.さくら

ひたち大好き博士

地域の行事等への参加や、公共施設での見学・体験などをポイント制で評価し、「ひたち大好き博士」に認定します。

